

大久保地区公共施設再生

～集約対象施設跡民間活用に関する意識調査報告書～



平成 29 年 3 月

東邦大学 理学部 生命圏環境科学科 環境計画研究室

環境政策研究室

要旨

習志野市では現在、時代の変化に対応した公共サービスを継続的に提供すること、人口減少社会の中で持続可能な都市経営を実現すること、将来世代に負担を先送りしないこと、の三つの視点に基づき、市内の公共施設の再編を行っています。

大久保地区における公共施設の再生・再編は全国の実験地ともなるモデル事業として平成 25 年度から取り組まれており、「藤崎図書館」「あづまこども会館」「生涯学習地区センターゆうゆう館」「屋敷公民館」は、京成大久保駅前に整備される施設に集約される計画となっています。また、平成 27 年度には、「集約対象施設跡の利活用を考えるワークショップ」が開催されました。



本アンケート調査は、このワークショップでまとめられた参加者の皆様のご意見やアイデアが、対象施設の所在地域に居住される市民の皆さんに広く支持されるのかどうかを確認し、集約対象施設跡の民間活用に、広くこの地区にお住いの市民の皆さんのご意見を反映させることを目的として実施しました。

調査の対象者は、対象施設の所在地域にお住いの 15 歳以上の方から、無作為抽出により選ばれた 2500 名の方とし、470 名の方からご回答を戴きました（回収率 19.7%）。

その結果として、①公共施設再生計画など、習志野市の公共施設再生にむけた取り組みは、集約対象となる施設が立地している地域においても未だ認知度は高くないが、関心は高いこと、②一方で、集約対象となる「藤崎図書館」「あづまこども会館」「生涯学習地区センターゆうゆう館」「屋敷公民館」を実際に利用している方の割合は高くないこと、③これらの施設が公共施設としての役割を終えた後、何らかの形でこれらの施設の活用を検討したいと考えている方が一定数居られること、などが明らかになりました。

今後、この調査で得られた結果を踏まえ、施設跡の利活用の方法を具体的に検討し、持続可能な地域づくりと財政のあり方を検討していくことが望まれます。

目次

要旨	1
目次	2
調査の概要	3
調査結果.....	5
自由回答.....	34

調査の概要

- 1) **実施期間**：平成 28 年 9 月 26 日（月）～平成 28 年 10 月 21 日（金）
- 2) **調査対象**：屋敷・花咲・本大久保・鷺沼台・藤崎・大久保・泉町在住の 15 歳以上の市民（無作為抽出）
- 3) **調査方法**：アンケート郵送法、2500 件配付、109 件あて先不明

表 1 年代別の配付数・回収数・回収率

年齢	実数	割合	配付数	割合	回収数	割合	世代別回収率
15～24	5933	12.7%	573	24.0%	67	14.3%	11.7%
25～34	6424	13.8%	589	24.6%	73	15.5%	12.4%
35～44	8861	19.0%	410	17.1%	102	21.7%	24.9%
45～54	8390	18.0%	304	12.7%	85	18.1%	28.0%
55～64	5370	11.5%	230	9.6%	55	11.7%	23.9%
65～74	6267	13.4%	188	7.9%	49	10.4%	26.1%
75～	5467	11.7%	97	4.1%	35	7.4%	36.1%
無回答	-	-	-	-	4		
合計	46712		2391		470		19.7%

表 2 地区別の配付数・回収数・回収率

地区	実数	割合	配付数	割合	回収数	割合	地区別回収率
屋敷	4664	10.0%	240	10.0%	48	10.2%	20.0%
花咲	4028	8.6%	176	7.4%	35	7.4%	19.9%
本大久保	8864	19.0%	470	19.7%	81	17.2%	17.2%
鷺沼台	5827	12.5%	301	12.6%	59	12.6%	19.6%
藤崎	12805	27.4%	663	27.7%	137	29.1%	20.7%
大久保	8238	17.6%	421	17.6%	75	16.0%	17.8%
泉町	2286	4.9%	120	5.0%	29	6.2%	24.2%
無回答	-	-	-	-	6		
合計	46712		2391		470		19.7%

4) サンプル数の設定について

調査対象地区の人口は約 50,000 人ですので、一般的に社会調査として必要となるサンプル数は 400 サンプル弱となります（許容誤差 5 %、信頼度 95%とした場合）。これだけのサンプルが集まれば、社会調査としては「必ずしも真の値ではないけれども、意思決定の材料としては十分なレベル」の情報が得られることになります。

もちろん、さらに多くのサンプルを集めることでより正確なデータを得ることができますが、そのためには費用がかさみます。たとえば、上記の例で許容誤差を 3 %とした場合に必要なサンプル数は 1000 強となり、ざっと 2.5 倍の経費がかかることになります。今回の調査では、「精度の高さ」と「費用」のバランスを考え、必要サンプル数を 400 と設定しました。

5) 配付の傾斜と回収率について

これまで市が行ったアンケート調査の多くは、年齢層によって回収率が異なり、若年層のサンプル比率が、実際の年齢構成比よりも低くなる傾向にあることが確認されていました。今回の調査は「将来の地域のあり方」に関する調査であるため、配付の段階で若年層の比率を高め、回収されたサンプルの年齢構成比が、実際の年齢構成比に近くなるように配慮しました。また、外国人の方にもアンケートをお送りしました。

このため、アンケート回収率が一般の調査に比較してやや低くなりました。以下に、過去の関連調査の概要をまとめます。

①習志野市公共施設再生計画に関するアンケート調査（平成 25 年 12 月実施）

対象：習志野市に在住の 18 歳以上の 3000 名を無作為に抽出

回答数：1018 人 回答率：33.9%

②「習志野」の地域の未来を考えるプロジェクトアンケート調査（平成 26 年 12 月実施）

対象：習志野市に在住の 15 歳以上の 3000 名を無作為に抽出

回答数：714 人 回答率：23.8%

③今回の調査（平成 28 年 10 月実施）

対象：習志野市大久保地区に在住の 15 歳以上の 2500 名を無作為に抽出

回答数：469 人 回答率：19.7%

上記調査のうち、①は配付数の割合を年齢構成比に合せているのに対し、②③の調査では回収サンプルの割合が年齢構成比に合うように、若年層の配付の割合を高めています。このため、②、③の調査では①の調査に比べ、回収率が低めになっています。

調査結果

その1 単純集計

1) アンケート回答者の属性

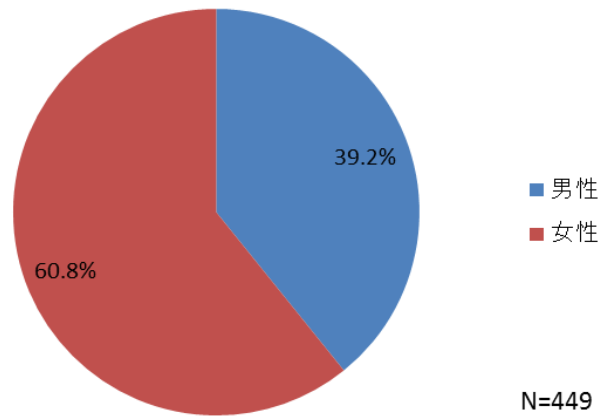


図1 回答者の性別

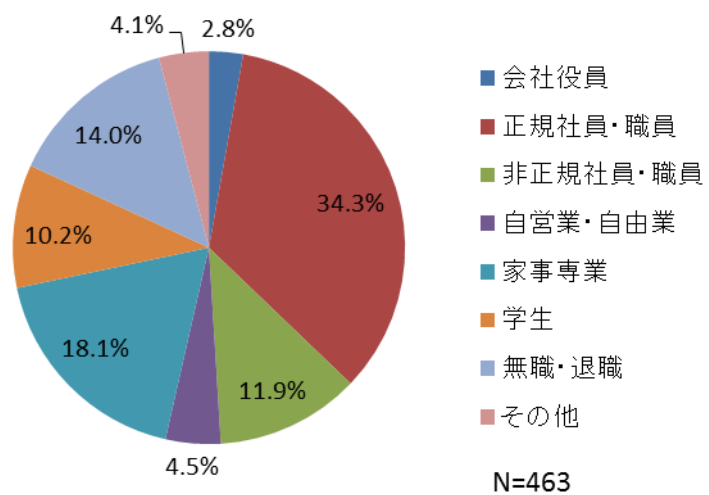


図2 回答者の職業

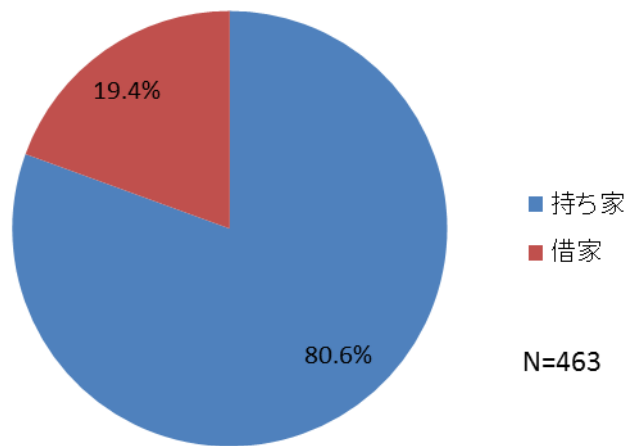


図 3 回答者の居住形態

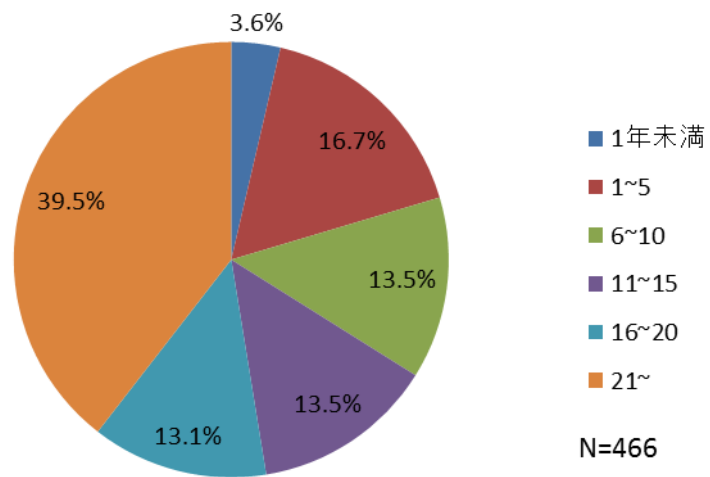


図 4 回答者の居住歴

まず、アンケート対象者の属性を図 1 ～6 にまとめました。

性別は女性が多めになりました。この傾向は過去のアンケートでも指摘されているところです（平成 25 年度調査では女性比率 54.3%、平成 26 年度調査では女性比率 59.0%）。

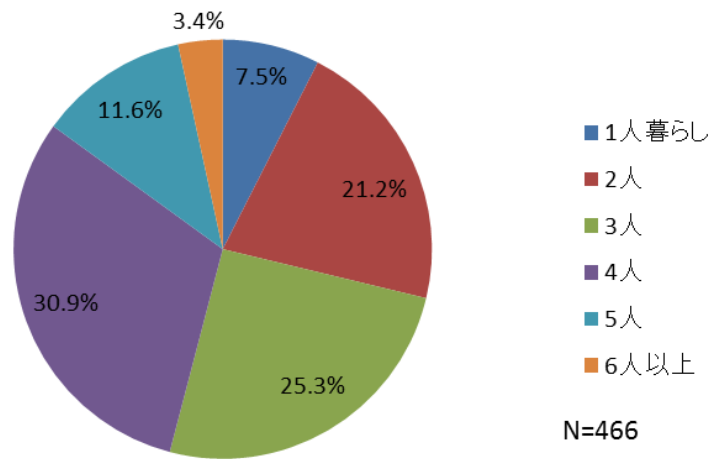


図 5 回答者の同居家族数

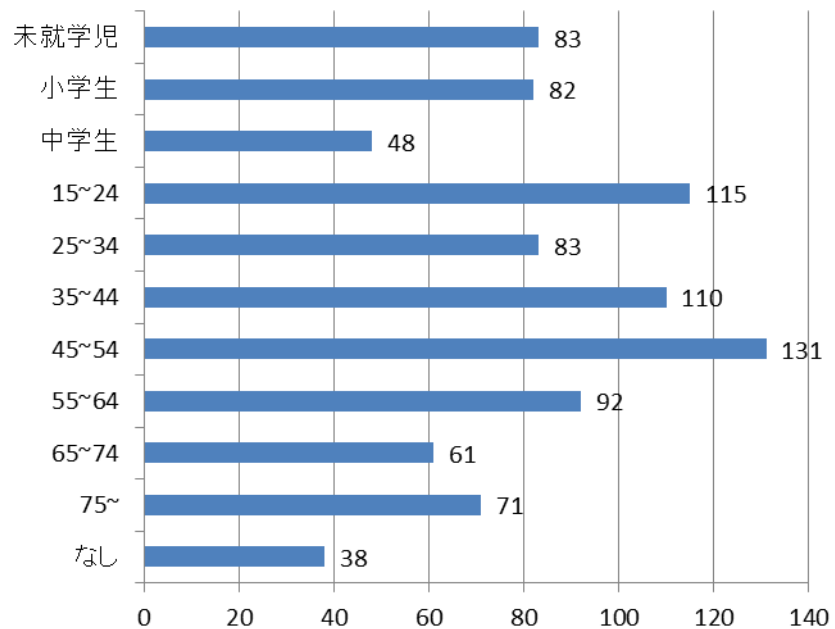


図 6 回答者の同居者年齢

また、習志野市全体を対象にした平成 26 年度調査に比べ、居住歴はほとんど差がないものの、持ち家比率は高く 80.6%（26 年調査では 73.4%）、4 人以上の家族の割合が高く 45.9%（26 年度調査では 32.7%）となっていました。

2) 公共施設の利用状況

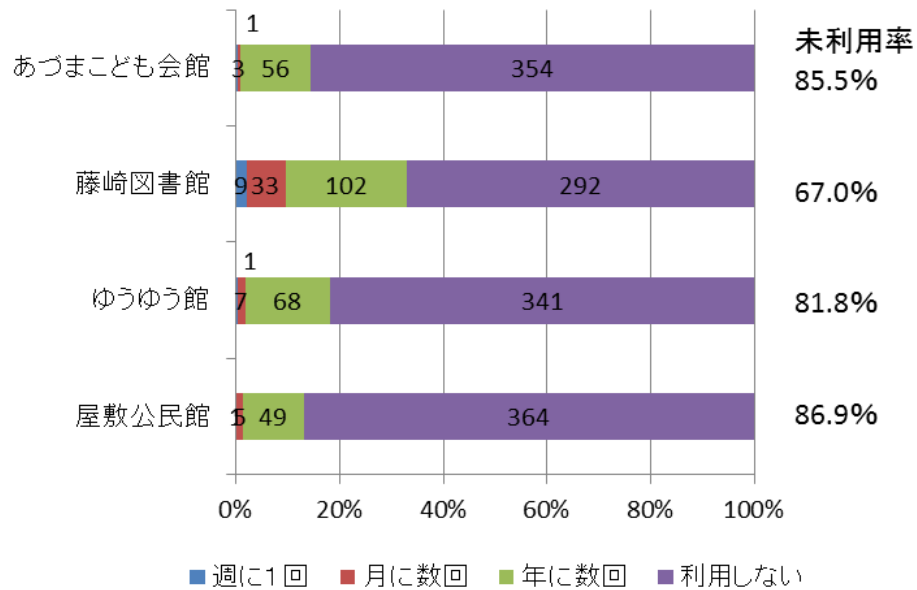


図7 集約対象施設の利用状況

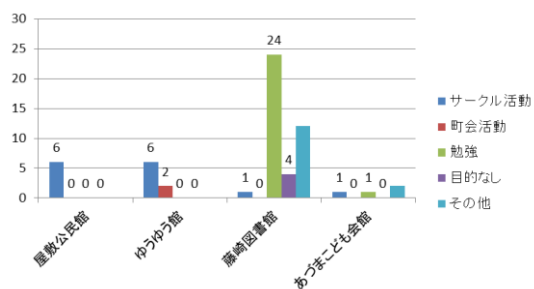


図8 施設の利用目的

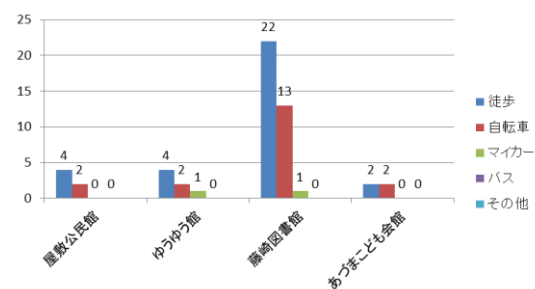


図9 施設までの交通手段

次に、各施設の利用状況ですが、最も利用率の高い藤崎図書館でも、「利用しない」という回答の方が3分の2を超えており、利用度が高い状況ではありませんでした。

また利用の目的として、公民館系（ゆうゆう館、屋敷公民館）ではサークル活動など、藤崎図書館では勉強が挙げられていました。これらの機能が地域からなくならないような配慮が求められるといえるでしょう。

3) 現在の生活や習志野市に対する考え方

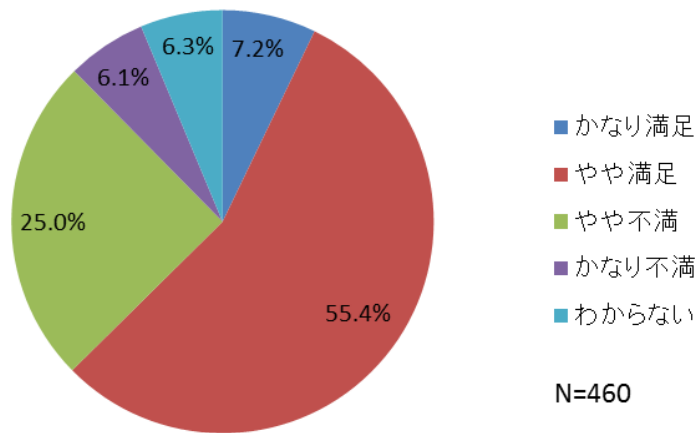


図 10 「あなたは現在の習志野市での生活に満足していますか」への回答

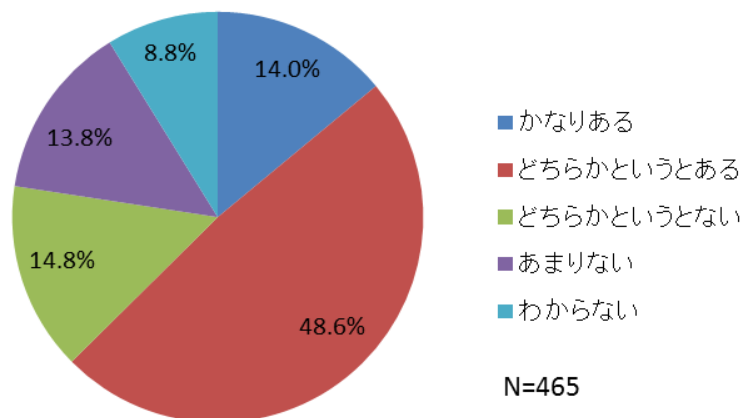


図 11 「あなたは習志野市に「愛着」や「誇り」はありますか」への回答

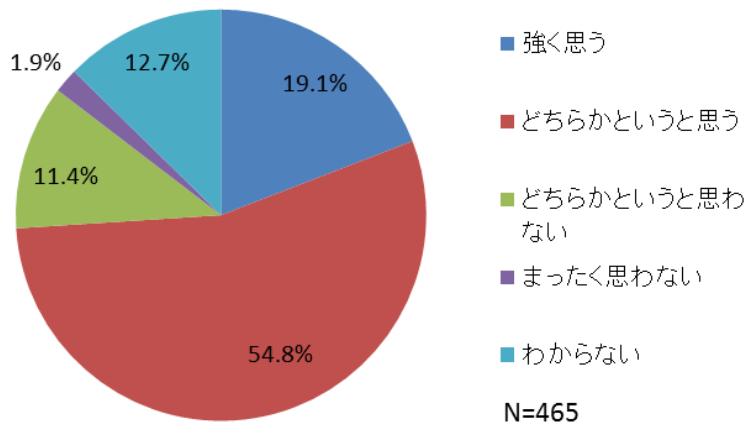


図 12 「あなたはこれからも習志野市に住みたいと思いますか」への回答

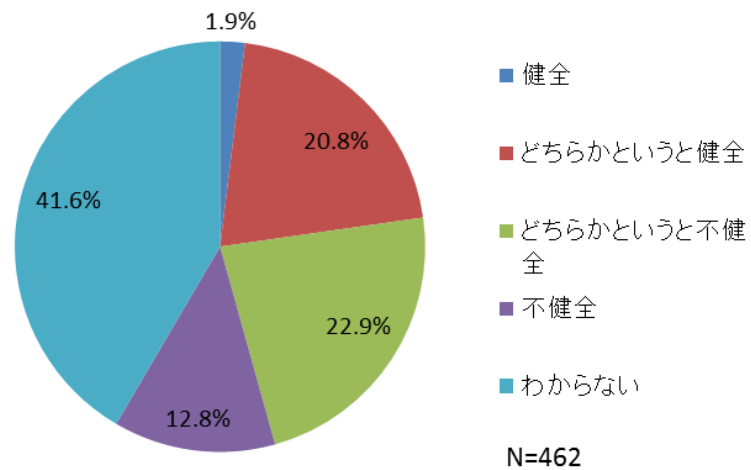


図 13 「あなたは習志野市の現在の財政状況をどのように思いますか」への回答

また、現在の生活満足度や今後の居住意向についてお尋ねしたところ（図 10～12）、概ね 3 分の 2 の方が現状の生活に満足し、習志野市に対しても愛着を感じていること、そして 4 分の 3 弱の方が今後も住み続けたいと思っておられることが分かりました。

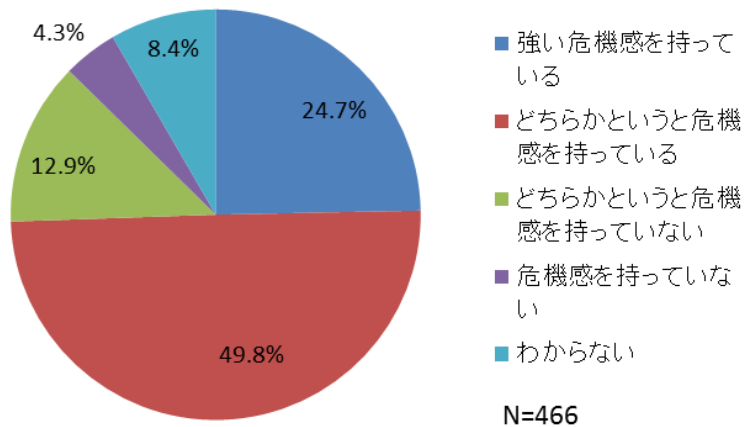


図 14 「あなたは将来の世代に負担を残すことに危機感を持っていますか」への回答

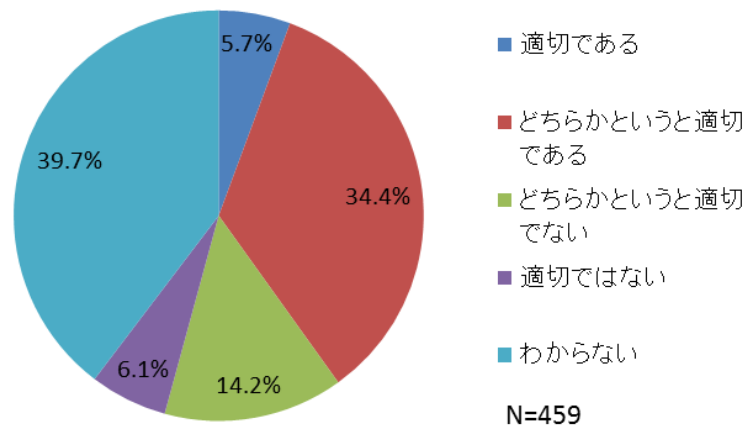


図 15 「これまでの習志野市が提供してきた公共サービスの内容についてどう思いますか」への回答

さらに、習志野市の財政や今後の負担増についてについてお尋ねしたところ（図 13～14）、市の財政健全度については多くの方が「わからない」としながらも 4 分の 3 の方が何らかの危機感を持っておられることが分かりました。

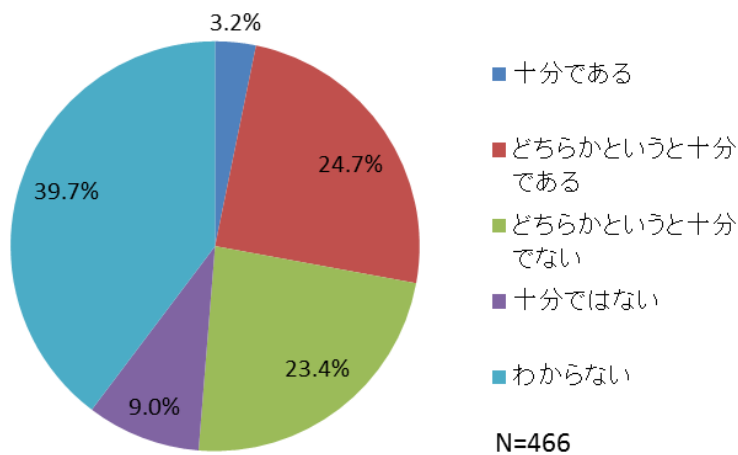


図 16 「これまでの習志野市が提供してきた公共サービスの量についてどのように思いますか」への回答

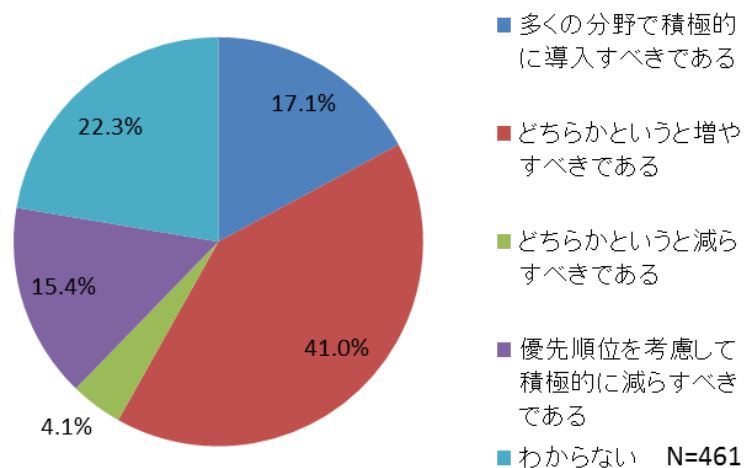


図 17 「これから将来的に習志野市が市民に提供する公共サービスの量について、あなたのお考えをお答えください」への回答

次に、習志野市の行政サービスについて、これまでとこれからを分けてお尋ねしました。これまでの行政サービスについては、量・質ともに4割の方が「わからない」と回答され、質的にはやや適切としながらも、量的にはやや十分でないとしていることが分かりました。

これからの行政サービスについても、「どちらかというとは増やすべきである」という回答が40%強と最も多く、「積極的に増やすべき」という方を加えると全体の58%の方が増やすべきという回答であることが分かりました。

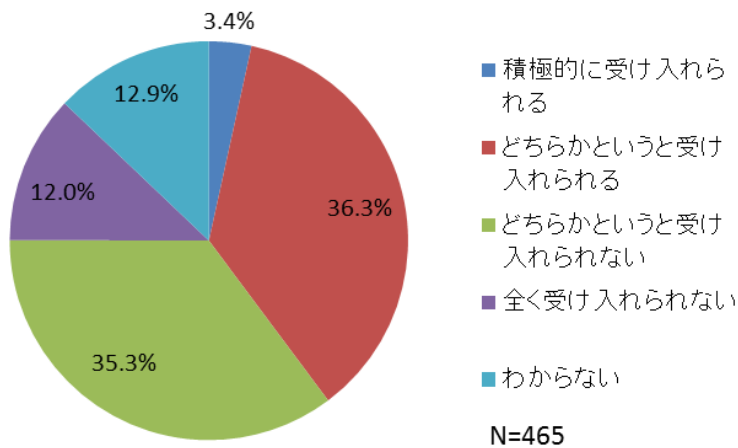


図 18 「これから将来的に公共サービスの量や質を維持するために、市民の負担が増えることが受け入れられるかお答えください」への回答

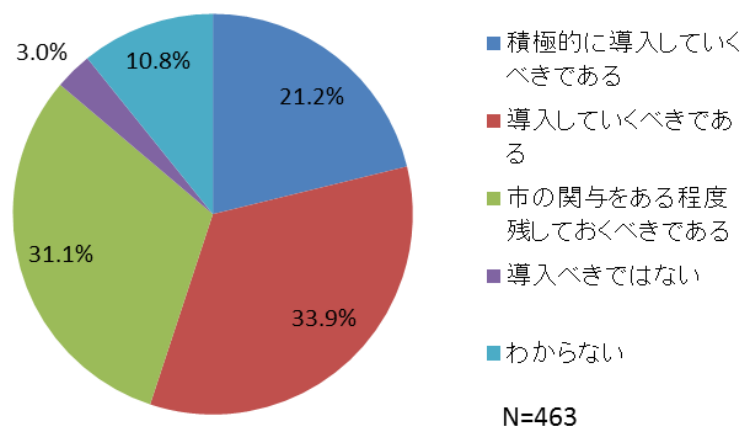


図 19 「行政に代わる公共サービスの担い手として、今後、民間施設・民間機能を積極的に導入していくべきだと思いますか」への回答

今後、公共サービスの量や質を維持に関する市民の負担増についてお伺いしたところ、受け入れられるとする方が 40%、受け入れられないとする方が 47%と、やや「受け入れられない」とする方が多いものの、概ね半々に分かれることが確認できました。また、民間施設・機能の導入については「導入していくべき」という方が半数を超えていることが確認できました。

4) 公共施設統廃合への認知・関心、再生計画への支持

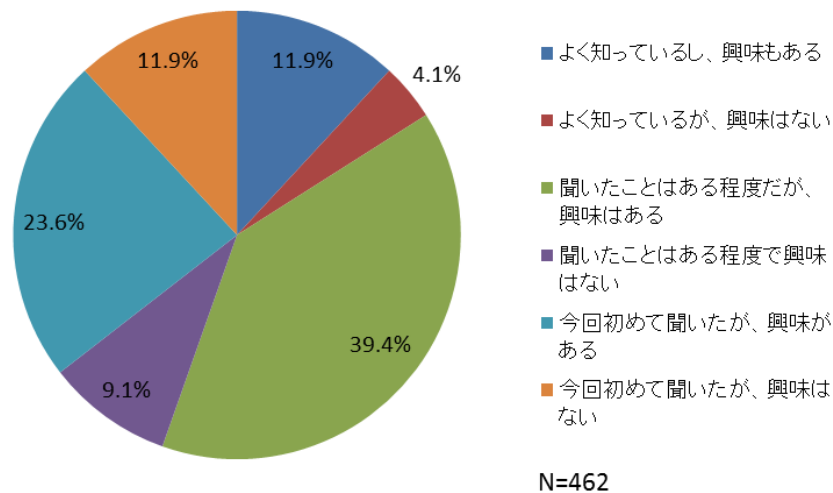


図 20 「あなたは公共施設の再生に伴い一部の施設が統廃合されることをご存知でしたか。またこの問題に興味はありますか」への回答

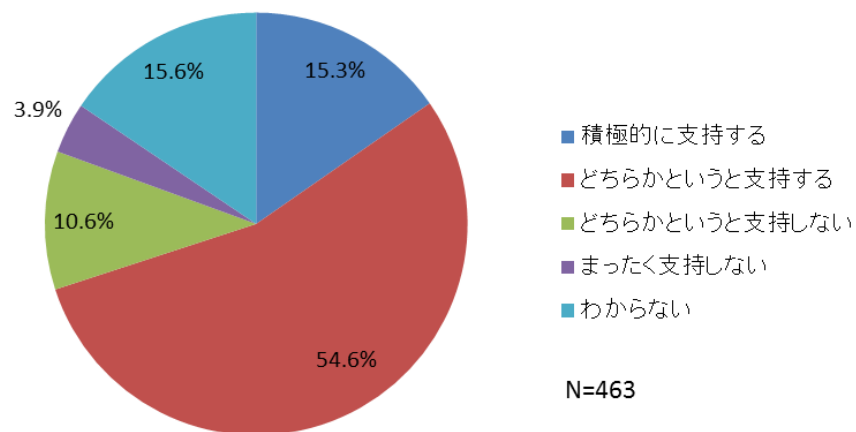


図 21 「あなたは「大久保地区の公共施設再生」について支持しますか」への回答

次に、公共施設の再生に伴う施設の統廃合についての認知度と興味についてお伺いしたところ、「今回初めて聞いた」という方が 36%、「聞いたことがある程度」という方が 48%と、この問題に対する認知度が未だ高くないことが確認できました。一方で、「興味がある」とする方が 75%に達しており、こういった問題に関する情報提供を一層進めることが必要であることが分かりました。

また、公共施設の再生については、「支持する」という方が 70%と大半であることが併せて確認できました。

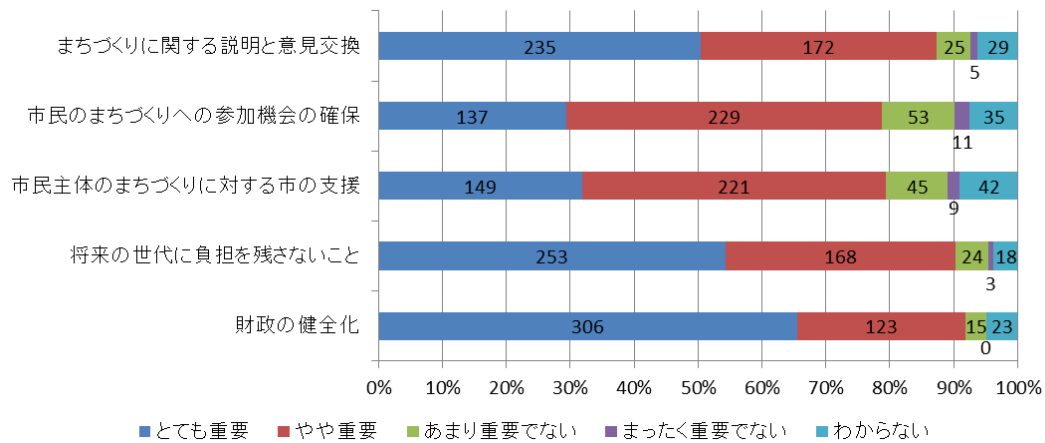


図 22 「次の項目はあなたにとってどのくらい重要ですか」への回答

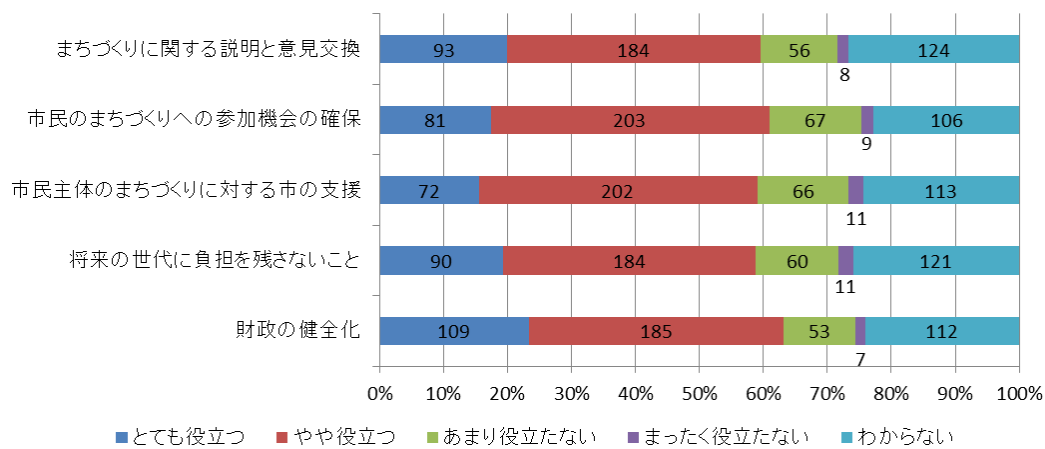


図 23 「『大久保地区の公共施設再生』はそれぞれの項目についてどのくらい役にたつと思いますか」への回答

ここでは、図 22・23 に挙げた項目について、ご自身がどの程度重要と考えるか、また「大久保地区の公共施設再生」がそれぞれの項目についてどの程度効果があるかと考えるかをお尋ねしました。その結果、財政の健全化や将来世代に負担を残さないこと、またまちづくりに関する説明や意見交換などを重要であるとする方が多いことが分かりました。

また「大久保地区の公共施設再生」がそれらに与える効果についてもすべての項目において6割程度の方が「役に立つ」としていることが確認できました。

5) それぞれの施設に求める姿（1位を3点、2位を2点、3位を1点として集計しました。）

①屋敷公民館について

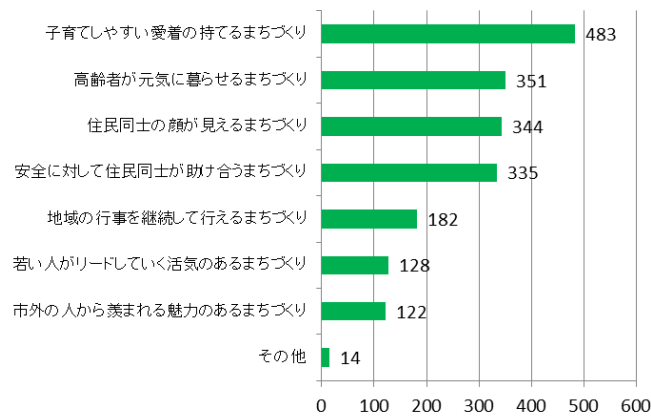


図 24 屋敷公民館跡周辺のまちづくりの方向性

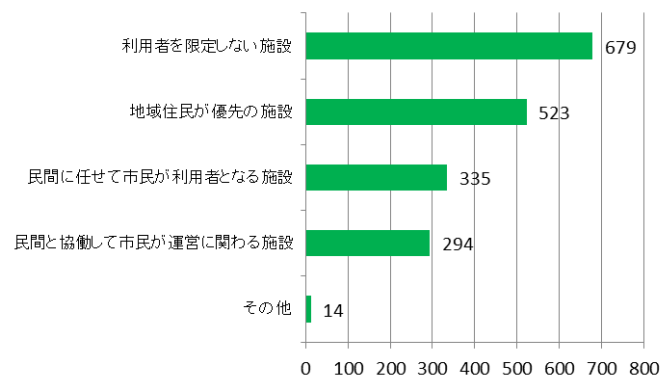


図 25 屋敷公民館跡に必要な機能

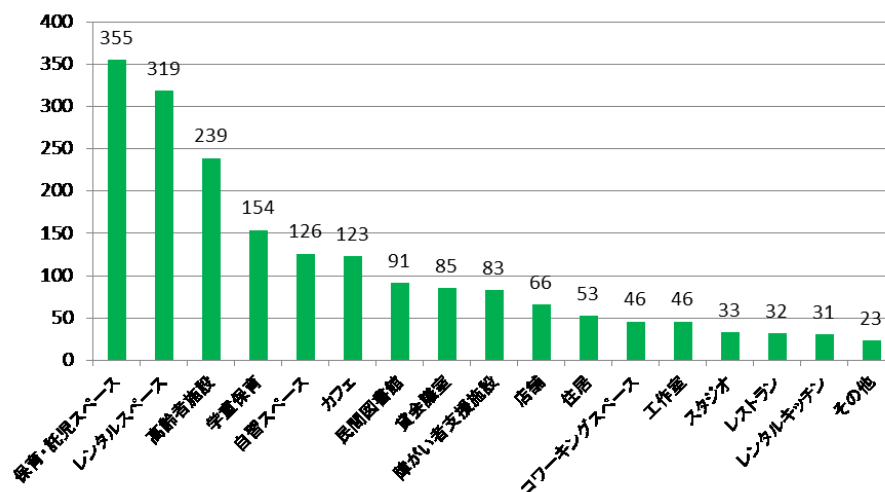


図 26 屋敷公民館跡に必要な施設やサービス

② ゆうゆう館について

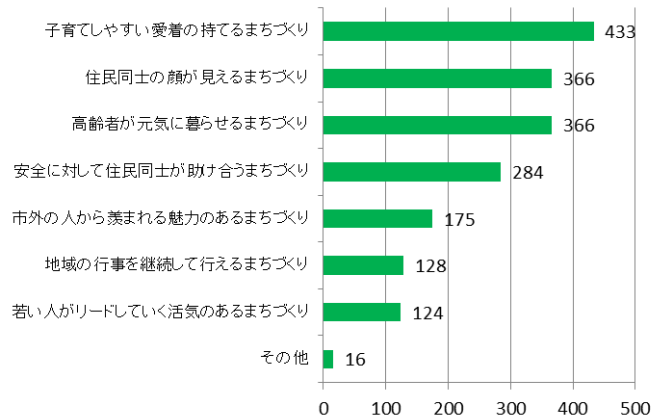


図 27 ゆうゆう館跡周辺のまちづくりの方向性

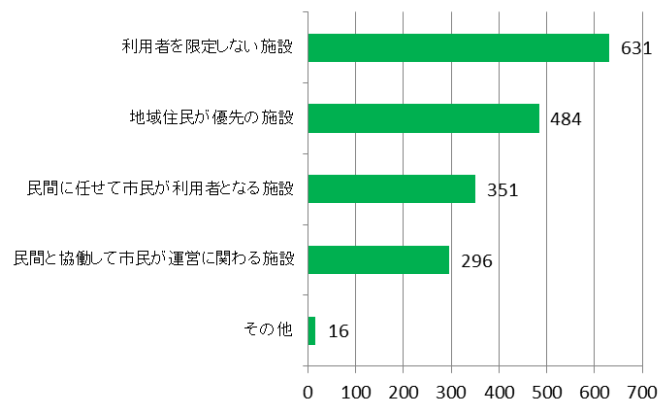


図 28 ゆうゆう館跡に必要な機能

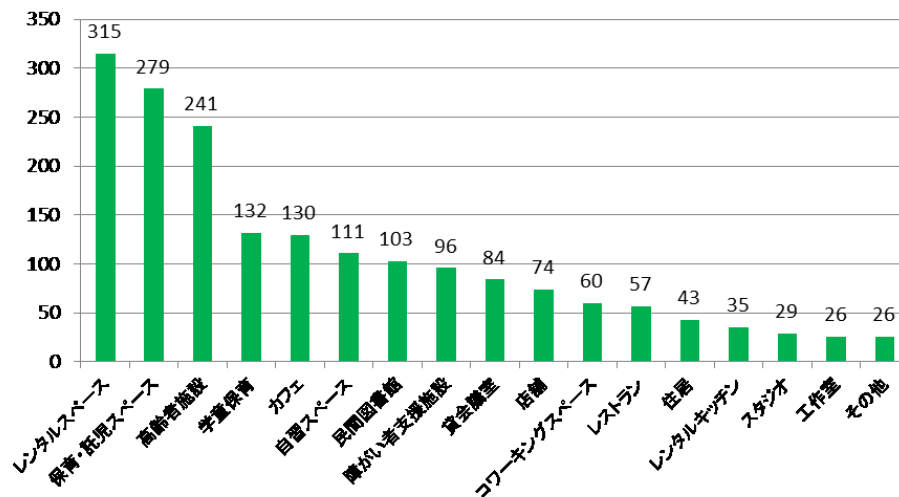


図 29 ゆうゆう館跡に必要な施設やサービス

「屋敷公民館」「ゆうゆう館」の公民館系の施設については、いずれも「子育てしやすく、多くの世代が愛着を持てるまちづくり」「地域コミュニティにおいて住民同士の顔が見えるまちづくり」への支持が高く、求められる機能としても「レンタルスペース」「保育・託児スペース」などへの支持が高いことが確認できました。

③藤崎図書館について

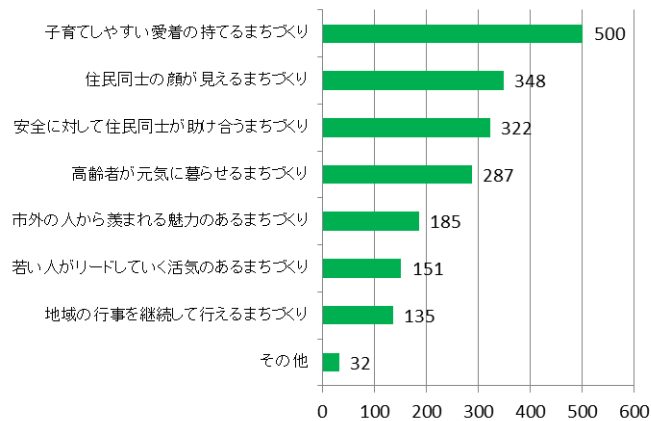


図 30 藤崎図書館跡周辺のまちづくりの方向性

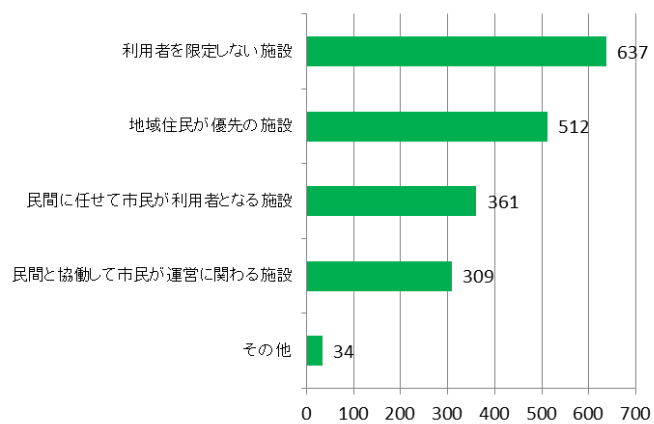


図 31 藤崎図書館跡に必要な機能

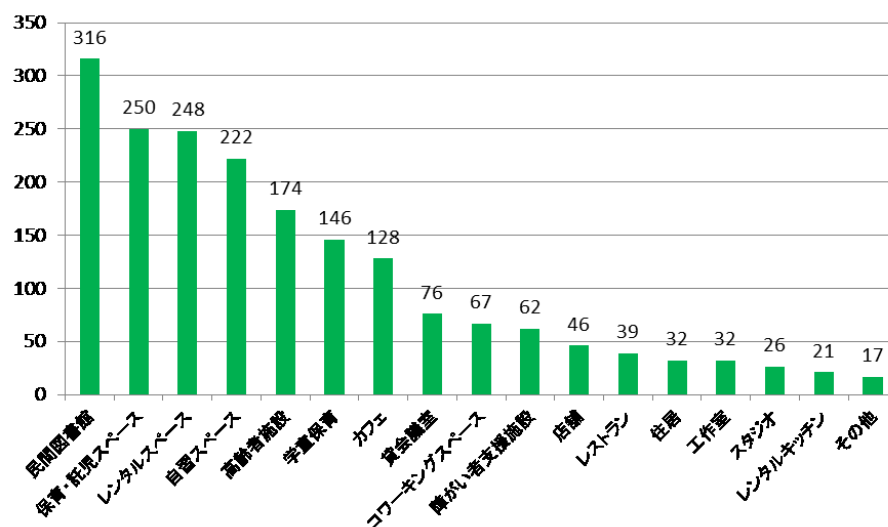


図 32 藤崎図書館跡に必要な施設やサービス

「藤崎図書館」については、同様に「子育てしやすく、多くの世代が愛着を持てるまちづくり」への支持が高く、求められる機能としても従来の「図書館機能」に加え、保育・託児スペースなどが挙げられていることが確認できました。

④あづまこども会館について

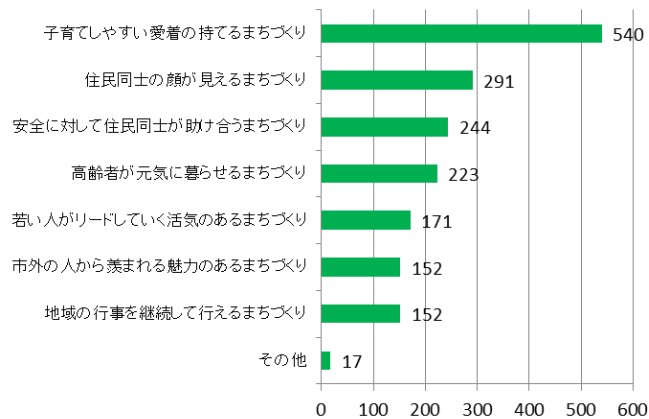


図 33 あづまこども会館跡周辺のまちづくりの方向性

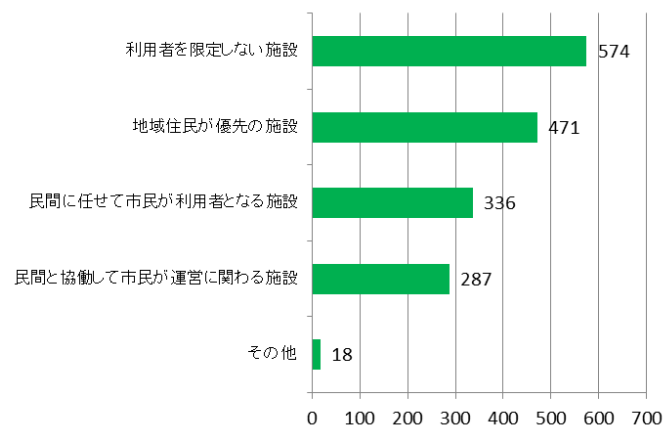


図 34 あづまこども会館跡に必要な機能

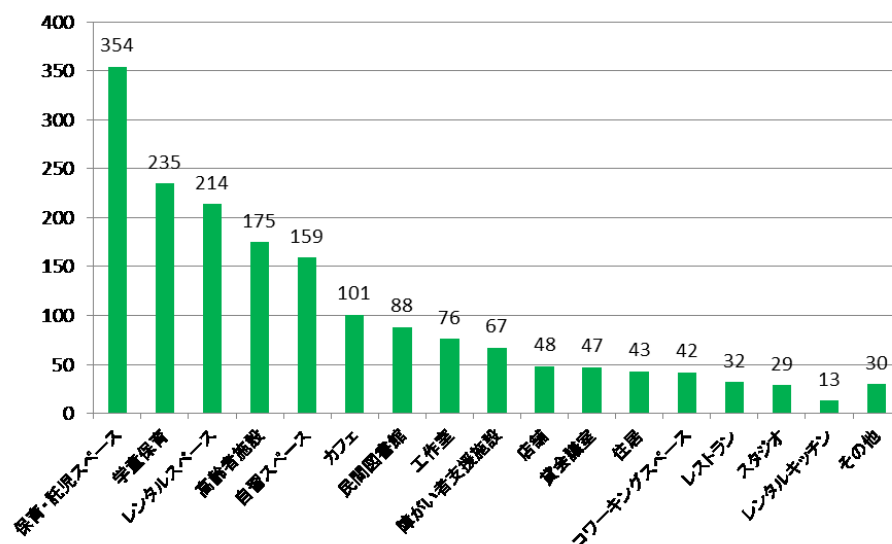


図 35 あづまこども会館跡に必要な施設やサービス

「あづまこども会館」についても他の施設と同様に、「子育てしやすく、多くの世代が愛着を持てるまちづくり」への支持が高く、「保育・託児スペース」が求められていること、それに次いで「学童保育」や「高齢者施設」が挙げられていることが確認できました。

6) 「担い手」としての参加

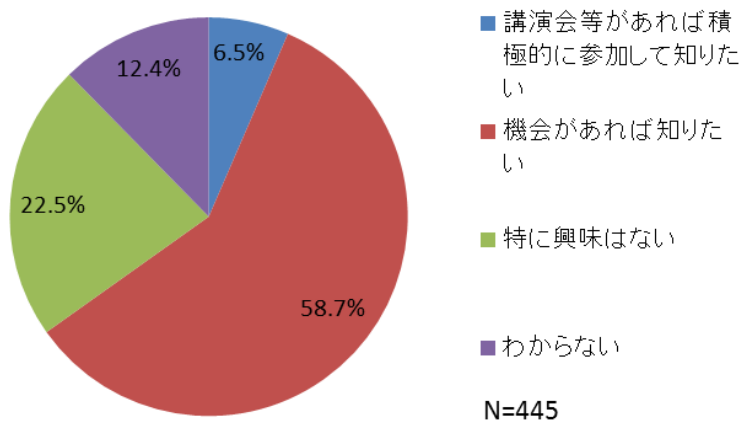


図 36 「地域のためになるような活動を地域住民の手で展開し、事業として成立させている事例が全国にあります。そのような事例について興味がありますか」への回答

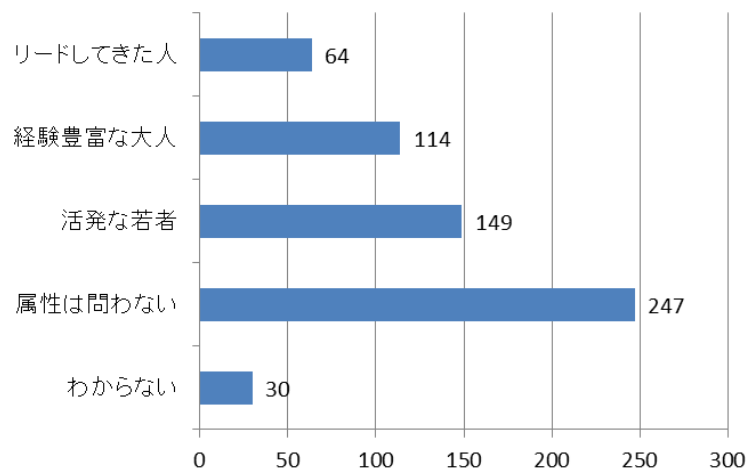


図 37 「地域のためになる活動を地域住民の手で展開する場合、どのような人が中心になって進めていくことが理想的だと思いますか」への回答

次に、公共サービスの担い手に関する設問項目として、まず「地域」他地域の事例への興味を尋ねたところ、概ね 3 分の 2 程度の方は何らかの興味を持っていることが確認できました。また、地域活動の担い手として、属性は問わないものの若者への期待が高いことも併せて確認できました。

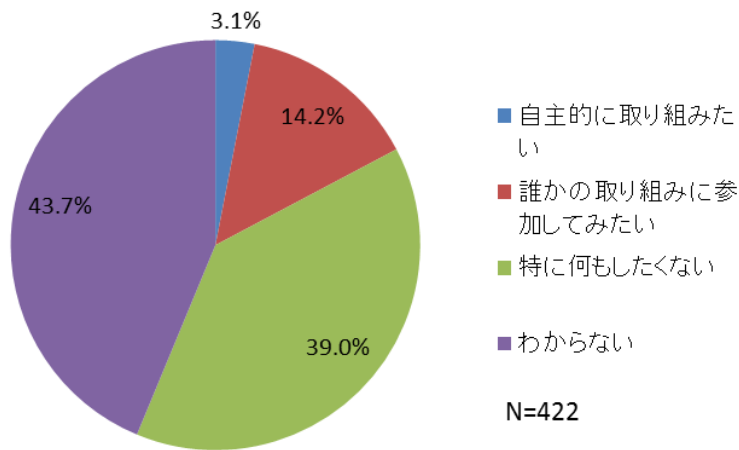


図 38 「あなたは集約対象施設跡での事業等の「担い手」として何かしてみたいと思いますか」への回答

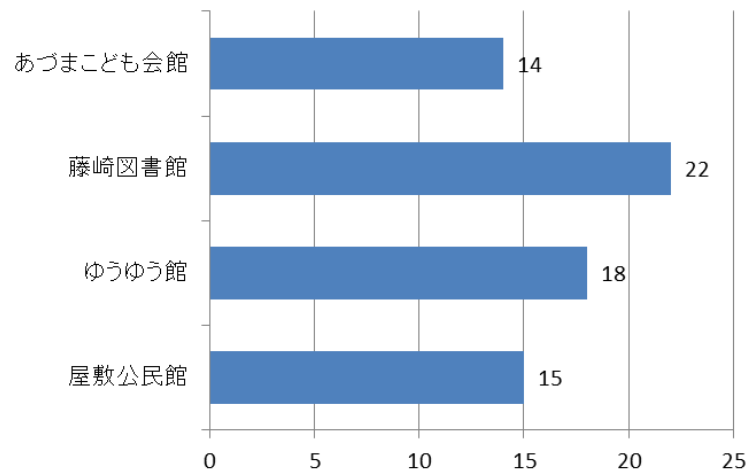


図 39 活動してみたい施設

さらに、自分自身がこれらの施設跡地で何か事業を取り組んでみたいか、という設問に対しては、全体の 6 分の 1 程度と数は少ないものの、それぞれの施設において「何かの事業に挑戦したい、あるいは誰かの取り組みに協力したい」と回答していることが確認できました。

その2 クロス集計

1) 年齢による回答の差異

① 各施設の利用頻度

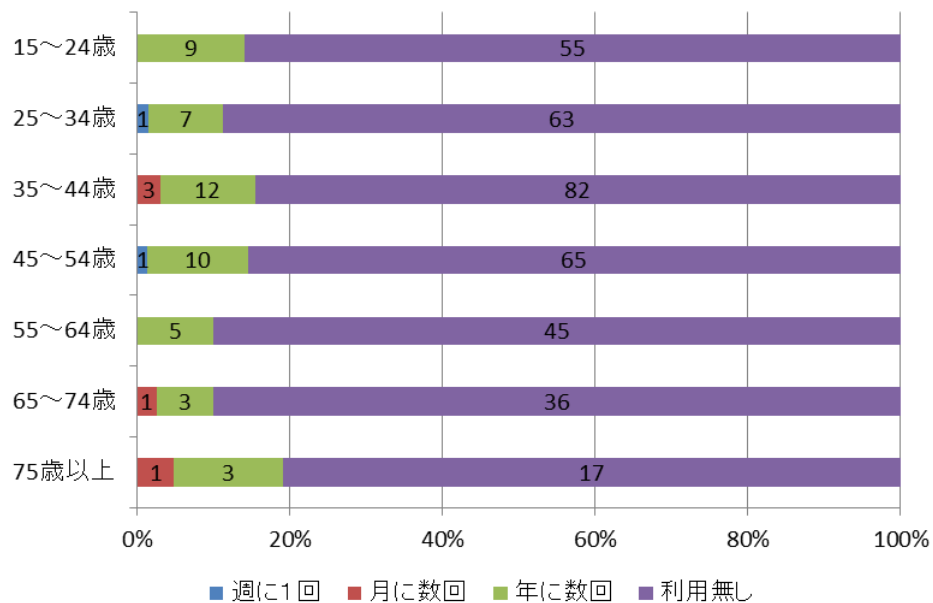


図 40 屋敷公民館の利用頻度

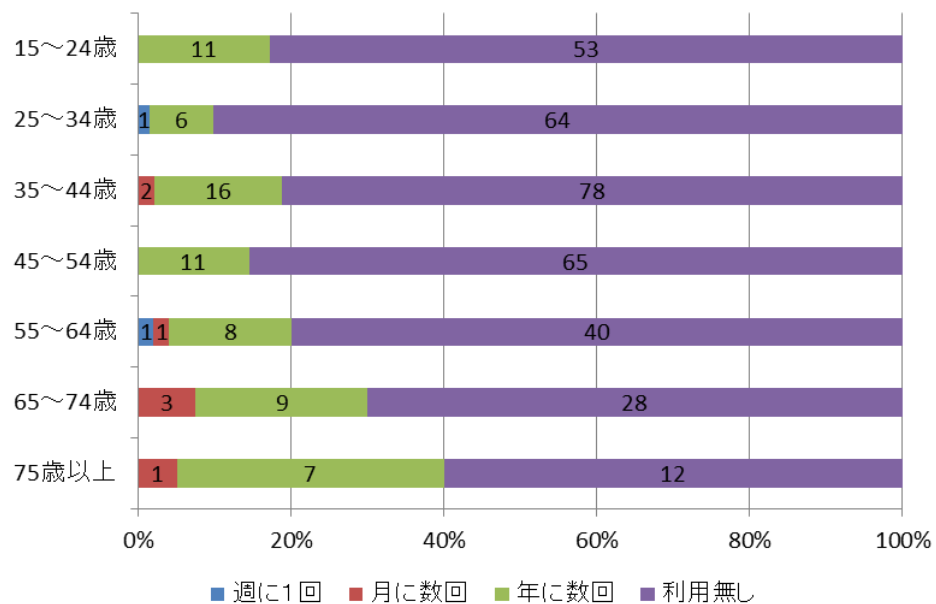


図 41 ゆうゆう館の利用頻度

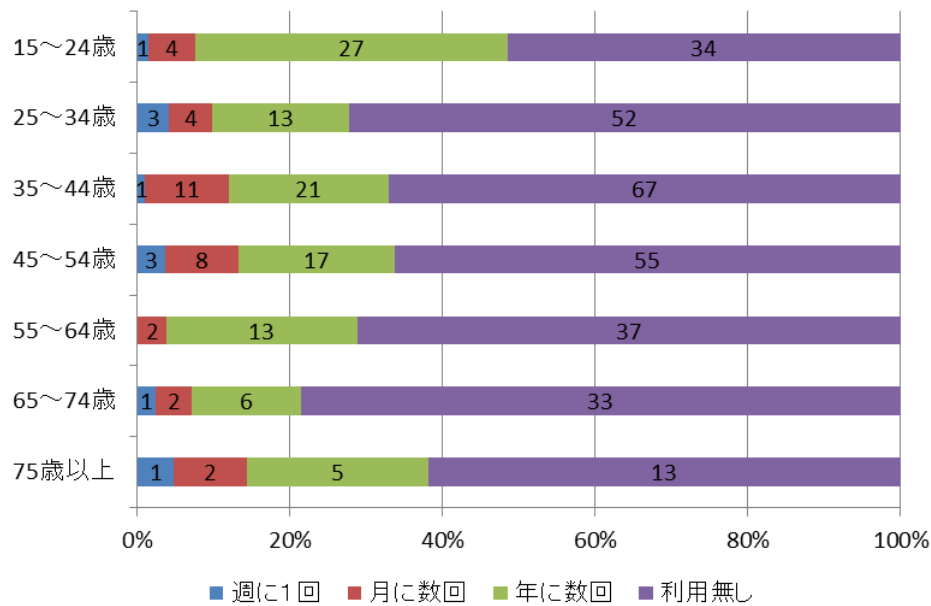


図 42 藤崎図書館の利用頻度

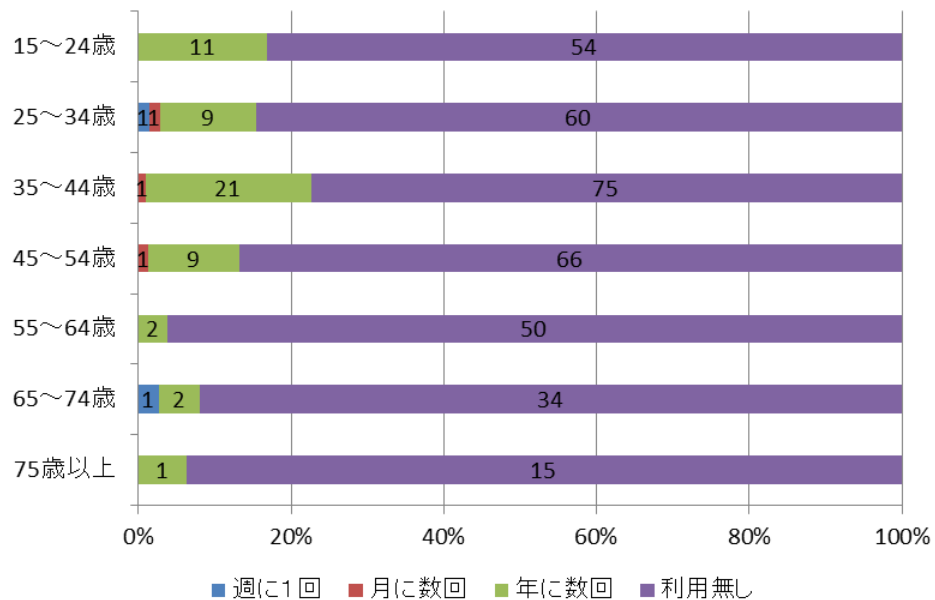


図 43 あづまこども会館の利用頻度

ここでは年齢ごとに、それぞれの施設の利用頻度を確認しました。その結果、ゆうゆう館では、やや年配の方々の利用が多く、藤崎図書館では、10代・20代前半の若年層の利用が多いことが分かります。また、「あづまこども会館」では子育て層と考えられる30代後半～40代前半の利用がやや多いことが確認できました。

このように、利用「率」だけ見るとそれぞれの施設の利用率は高くないものの、異なる世代の「居場所」となっていることが分かりました。

②現在の生活や習志野市に対する考え方について

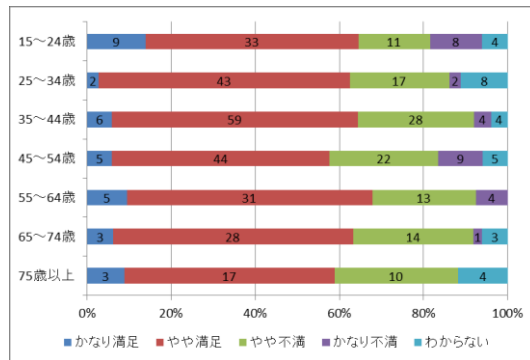


図 44 現在の生活満足度

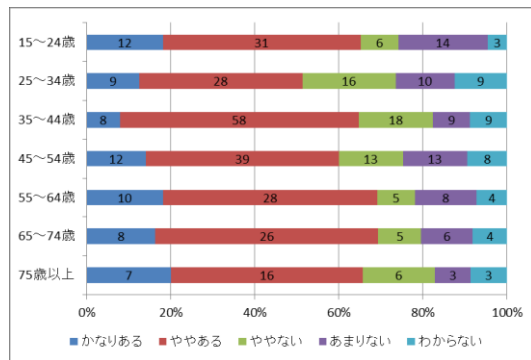


図 45 習志野市に対する愛着や誇り

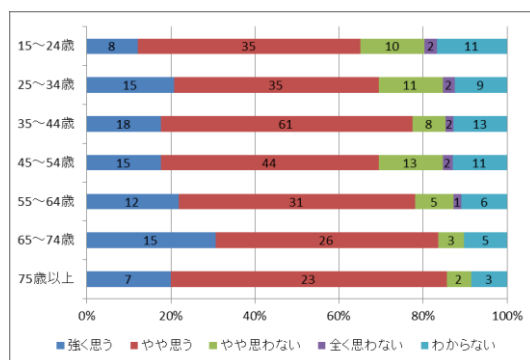


図 46 今後の居住意向

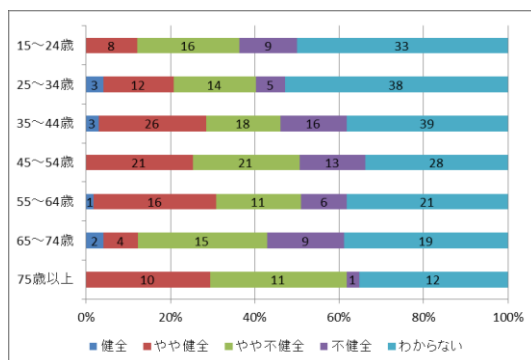


図 47 習志野市の財政健全度評価

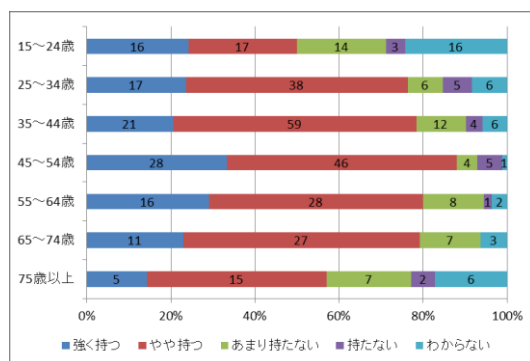


図 48 将来の負担増への危機意識

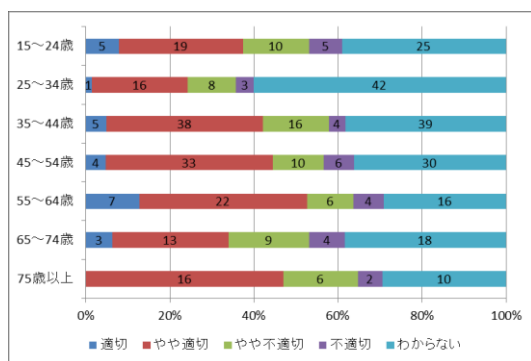


図 49 これまでの行政サービスの内容

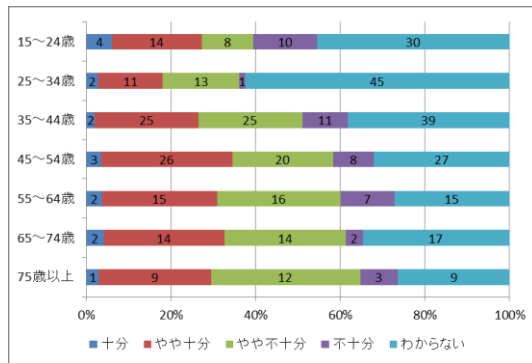


図 50 これまでの行政サービスの量

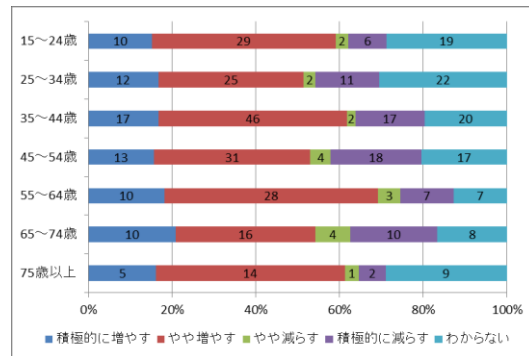


図 51 これからの行政サービスの量

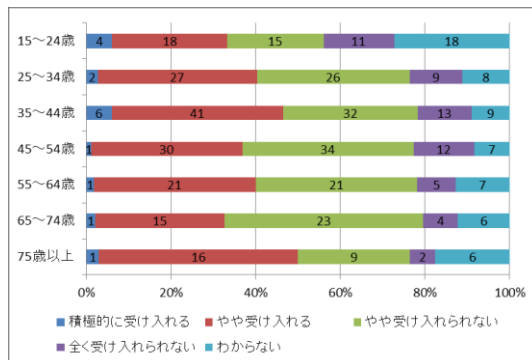


図 52 市民負担の受容度

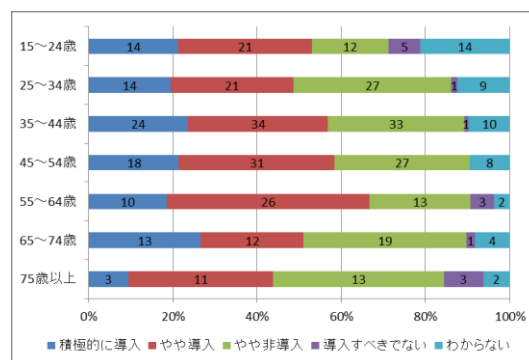


図 53 民間機能の導入について

ここでは、習志野市での生活満足度や市に対する愛着や誇り、またこれまでの行政サービスの評価など、本報告書 p.9～13 にまとめた 10 項目について年代ごとに差異を確認しました。

その結果、生活満足度や市への愛着・誇りなどについては、各年代で大きな差はないものの（図 44、45）、今後の居住意向については、若年層ほど低い傾向にあることが確認できました（図 46）。また、市の財政やこれまでのサービスの質や量、さらには市民負担増などについては、若年層ほど「わからない」という率が高くなっています。

③公共施設の統廃合への認知・関心、再生計画への支持

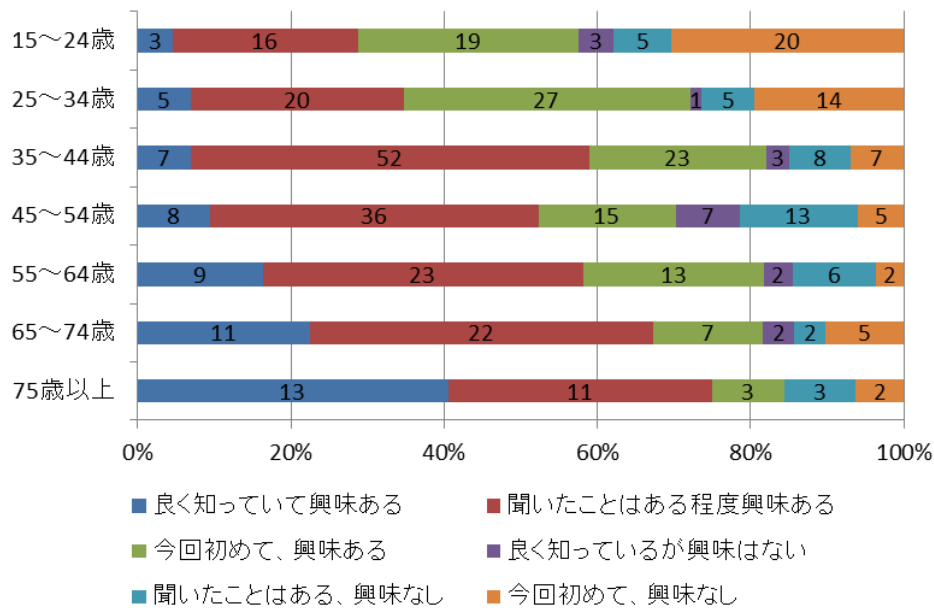


図 54 公共施設の統廃合への認知と関心

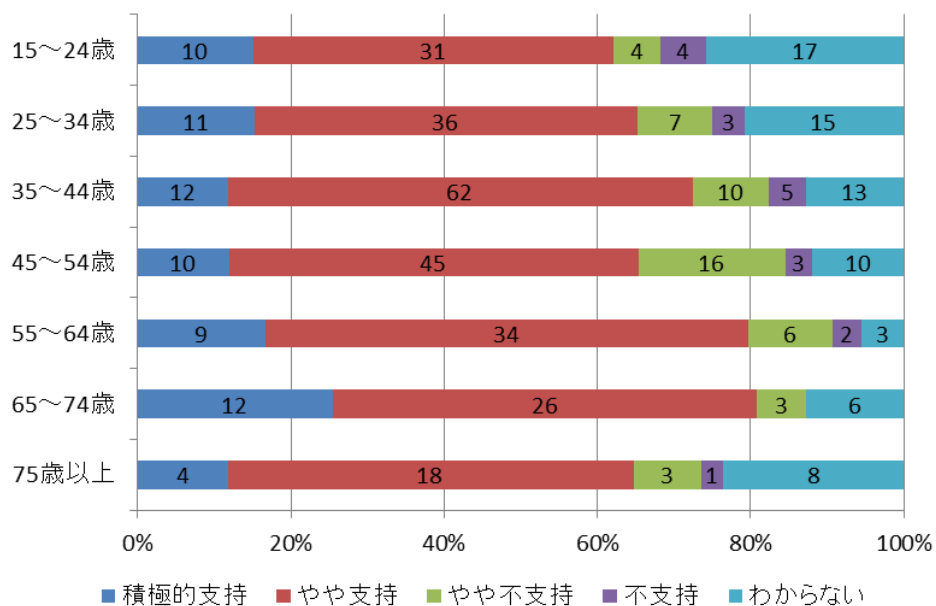


図 55 「大久保地区の公共施設再生」への支持

同様に、公共施設の統廃合への認知と関心（本報告書 p.14）について、年代ごとに差異を確認したところ、年代が下がるにつれ、認知も関心も低いことが確認できました。その一方で、公共施設再生への支持については、若年層と高齢者層で「分からない」方の率がやや増えるものの、概ね年代で差異は確認できませんでした。

これらのことより、今後、若年層に特化した説明会やワークショップなどを展開することで、市政に対する理解を深め、習志野市への愛着や定住意向をさらに高める努力を行っていくことが重要だと言えます。

③「担い手」としての参加

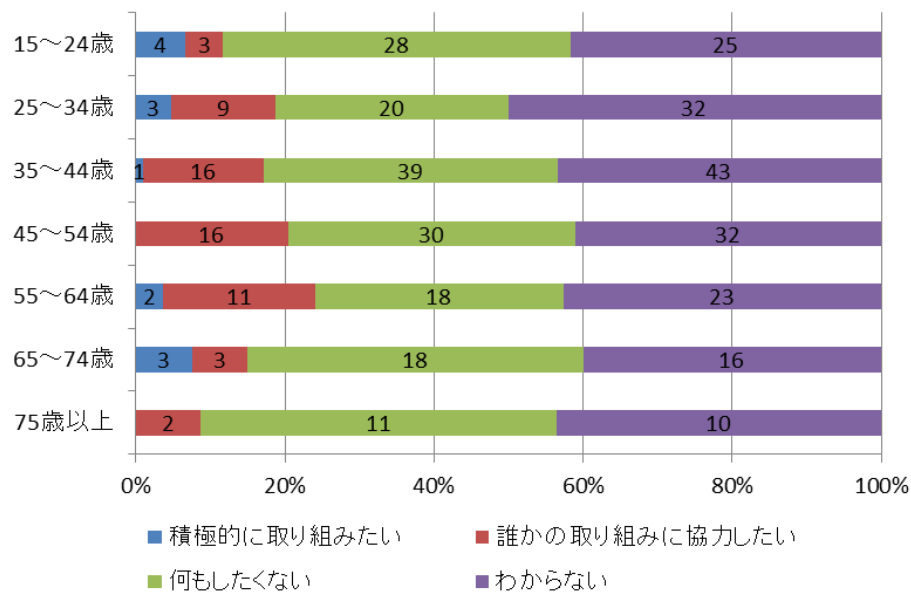


図 56 「担い手」としての自身の関与

ここでは、まちづくりの「担い手」として関与したいかどうか（本報告書 p.21）を年代ごとに確認しました。

その結果、年代による大きな差異はなく、逆に言えば若年層であっても担い手として何らかの関与を考えている方が一定の割合でおられることが確認できました。

今後のまちづくりにおいては、このような「担い手」の掘り起しと、そのサポート体制の確立が重要であると考えられます。

2) 地区による回答の差異

① 各施設の利用頻度

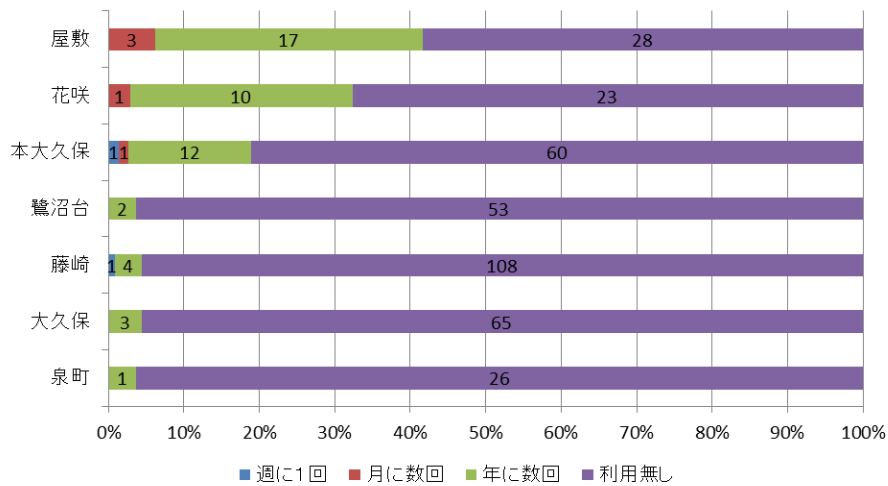


図 40 屋敷公民館の利用頻度

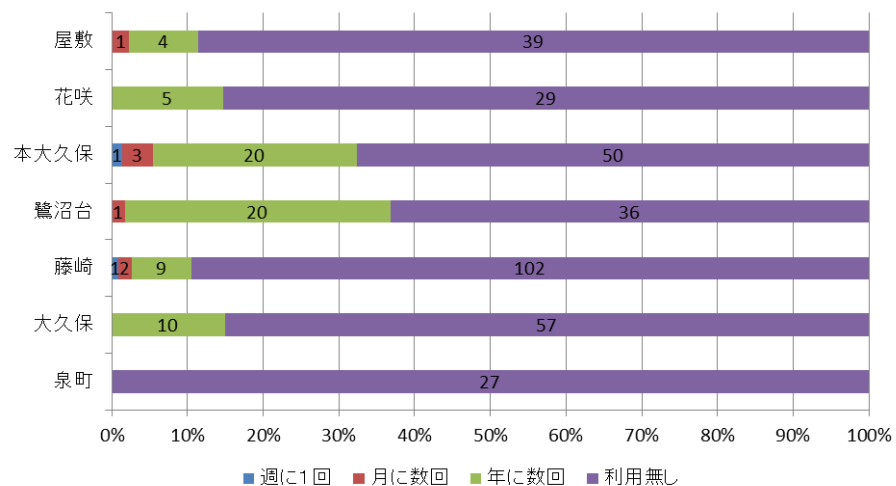


図 41 ゆうゆう館の利用頻度

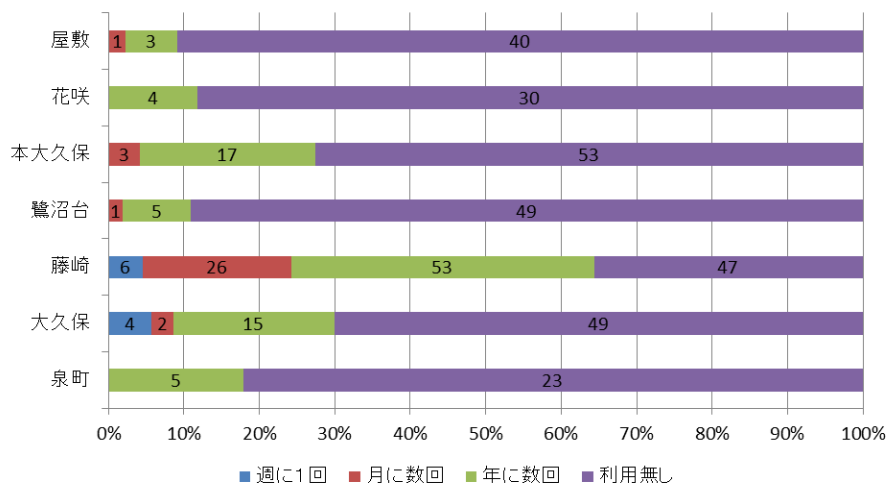


図 42 藤崎図書館の利用頻度

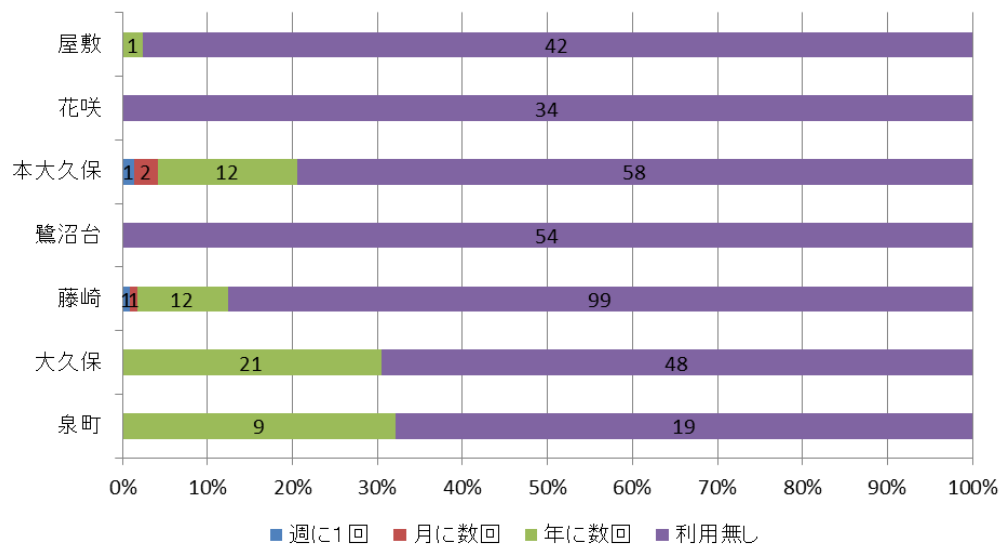


図 43 あづまこども会館の利用頻度

次に、地区別の回答の差異を確認しました。まず、地区別に各施設の利用頻度を確認したところ、図に示したように、どの施設においてもその地区にお住まいの方の利用頻度が高いことが改めて確認できました。

②現在の生活や習志野市に対する考え方について

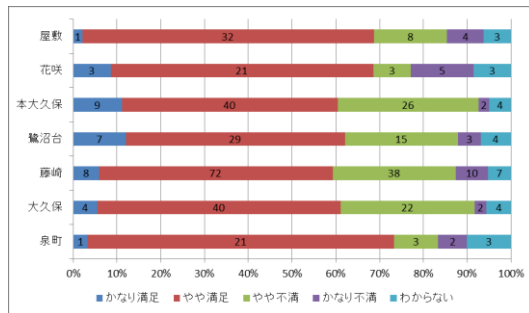


図 44 現在の生活満足度

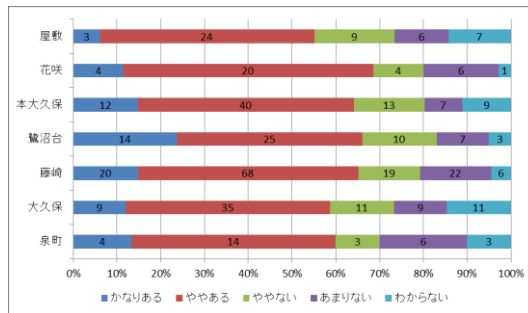


図 45 習志野市に対する愛着や誇り

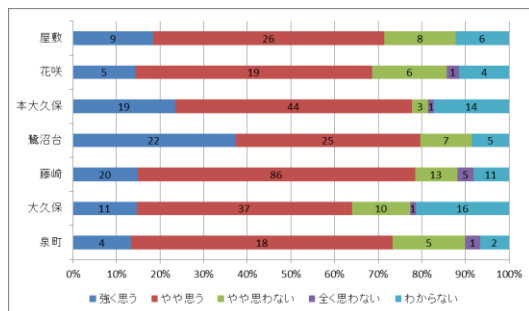


図 46 今後の居住意向

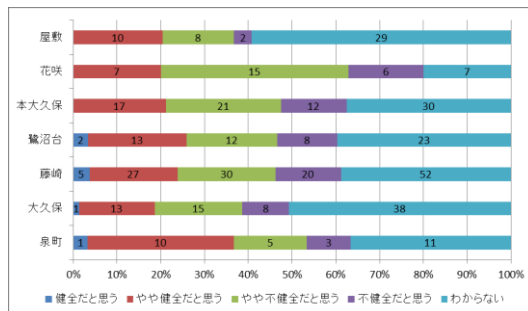


図 47 習志野市の財政健全度評価

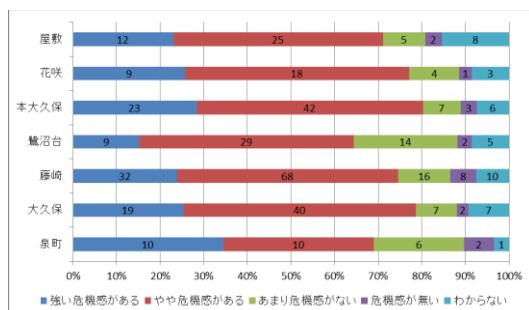


図 48 将来の負担増への危機意識

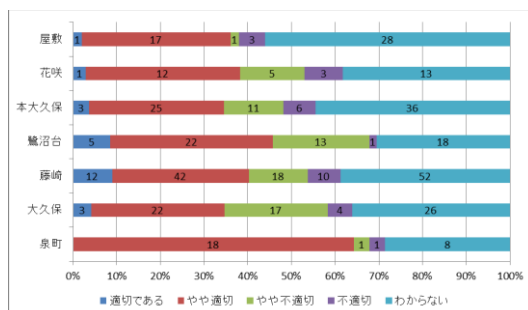


図 49 これまでの行政サービスの内容

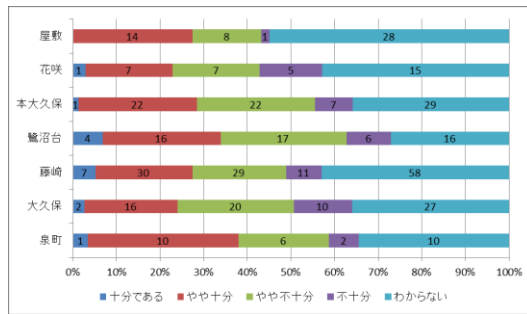


図 50 これまでの行政サービスの量

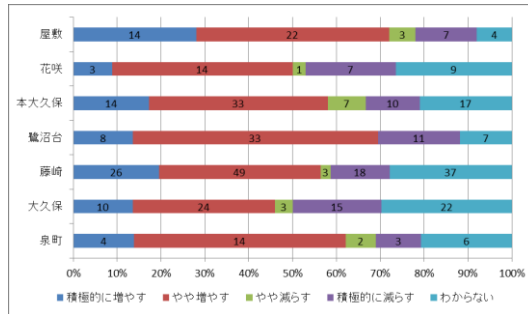


図 51 これからの行政サービスの量

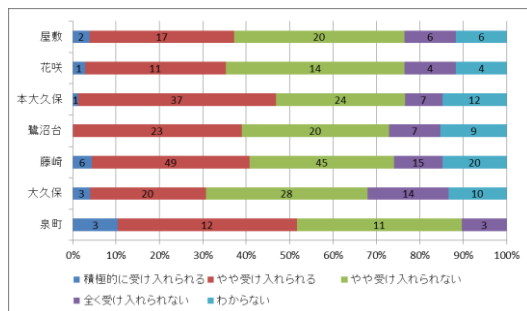


図 52 市民負担の受容度

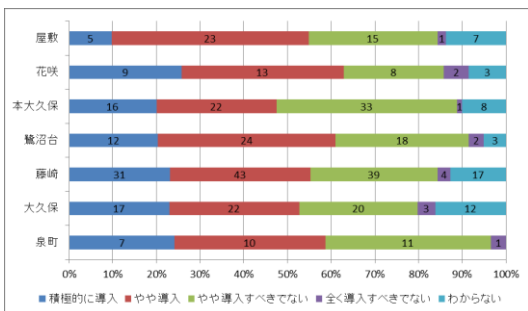


図 53 民間機能の導入について

同様に、地区別に、生活満足度や習志野市への愛着などの差異を確認したところ、ある程度の地域差を確認することができました。

例えば鷺沼台では、「生活はかなり満足」「習志野市への愛着や誇りがかなりある」「今後も住み続けたい」という回答の割合が最も高い一方で、「市民負担の増加」について「積極的に受け入れられる」という回答がゼロでした。

これとは対照的に、泉町では「生活はやや満足」「今後もやや住み続けたい」などの回答者が多い一方で、「市民負担の受容度」については、全地域で最も多くの割合の方が「積極的に受け入れられる・やや受け入れる」としていました。

このような地域差にも注目したきめの細かな対応が今後求められると言えるでしょう。

③公共施設の統廃合への認知・関心、再生計画への支持

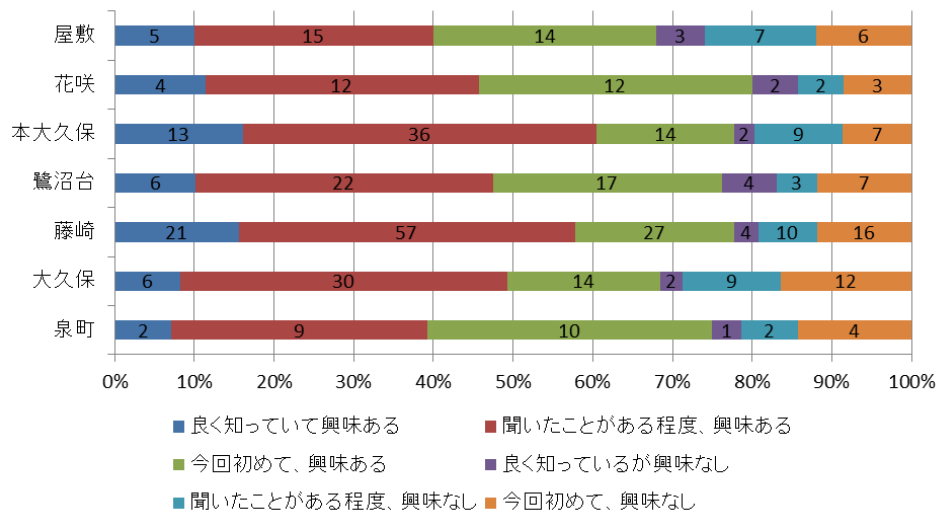


図 54 公共施設の統廃合への認知と関心

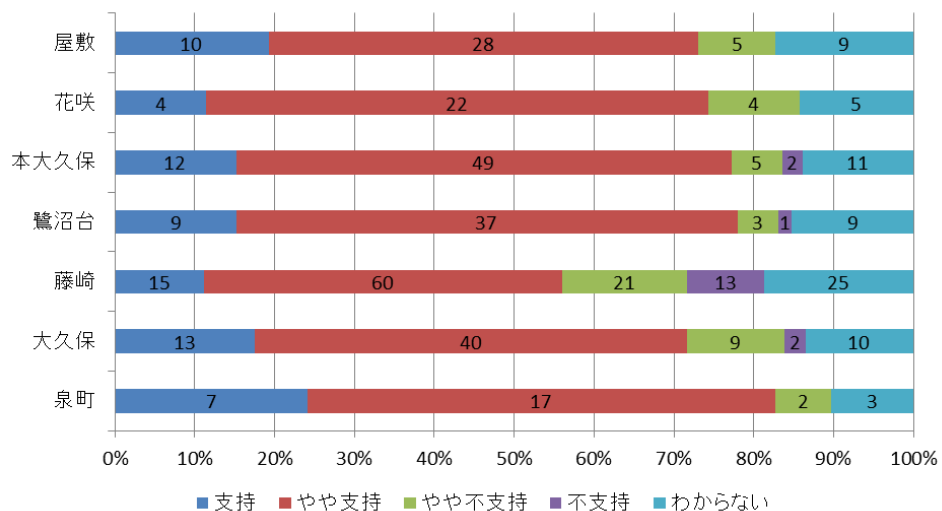


図 55 「大久保地区の公共施設再生」への支持

次に、公共施設再生についての認知・関心、またその支持について地区ごとに確認したところ、特に藤崎地区においては、支持率が突出して低いことが確認できました。

今後の公共施設再生においては、これらを踏まえ、引き続き丁寧な地区説明会などの開催とその周知を徹底することが必要であると言えます。

④「担い手」としての参加

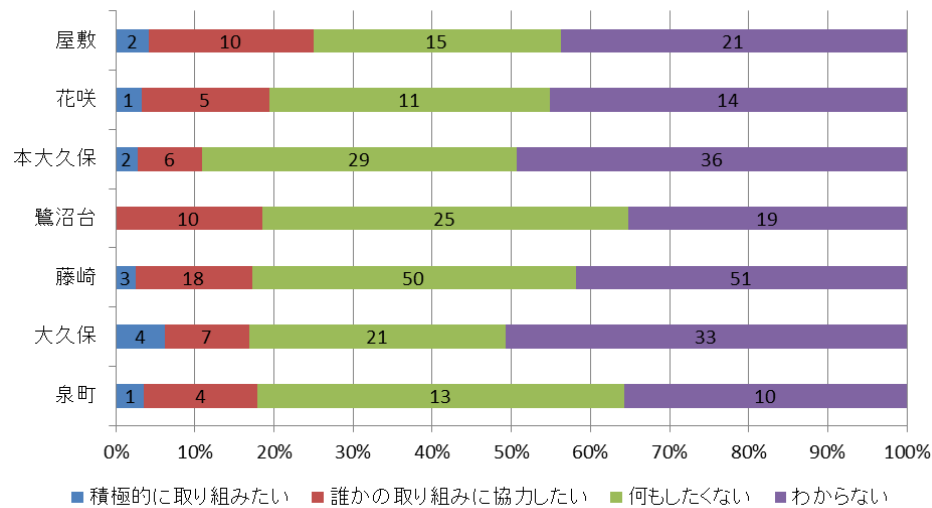


図 56 「担い手」としての自身の関与

最後に、「担い手」としての自身の関心を地区別にまとめました。地区による大きな差はありませんが、逆にいえば、どの地区であっても少数ではあるものの、担い手として事業に挑戦したいという方が一定の割合でいらっしゃる事が確認できました。

今後は、こういった人材の掘り起しとその支援策が求められると言えるでしょう。

その3 結果のまとめ

ポイント1 公共施設再生計画など、習志野市の公共施設再生にむけた取り組みは、集約対象となる施設が立地している地域においても未だ認知度は高くないが、関心は高いことが確認できました。ただし、若年層の回答者は、総じて公共施設の再生について認知度も関心も低いことが分かりました。

このため、今後は若年層に特化した説明会やワークショップなどを開催し、市や地域に対する関心を喚起していくことが求められると考えます。

ポイント2 集約対象となる「藤崎図書館」「あづまこども会館」「生涯学習地区センターゆうゆう館」「屋敷公民館」を実際に利用している方の割合は高くないことが確認できました。また、全体として公共施設の再生については支持する意見が多く、これによって地域の魅力が向上することが期待されていることも確認できました。

今後も地域とのコミュニケーションをしっかりと取りつつ、着実に公共施設の再生を進め、地域の魅力を向上させていくことが行政の責任であると考えます。

ポイント3 公共施設の跡地のあるべき姿として共通している点が、「子育てしやすく、多くの世代が愛着を持てるまちづくり」であり、それを具体化するための「保育や託児サービス」などへの期待が高いことが確認できました。習志野市のまち・ひと・しごと創生総合戦略で謳われていることとも符合するため、公共施設の跡地利用においてこの視点が非常に重要であることが改めて確認できたと考えます。

また、集約対象となる「藤崎図書館」「あづまこども会館」「生涯学習地区センターゆうゆう館」「屋敷公民館」などが公共施設としての役割を終えた後、何らかの形でこれらの施設の活用を検討したいと考えている方が一定数居られること、そしてその中には、ポイント1で述べた認知や関心の低かった若年層にも居られることが併せて確認できました。

これらのことから、子育て層や若年層を中心に、地域で何かにチャレンジしたい方が集約対象施設跡の活用に積極的に関与できるような仕組みづくりを進めることが求められるといえます。

自由回答

ここでは、回答者の皆さまからお寄せいただいた「自由回答」を地区ごとに、性別・年代別にソートして、そのまま掲載いたします。

一般的なアンケート調査では、自由回答にご記入戴ける割合は多くとも 20%程度ですが、今回 179 名と全体の 38%強の方からご回答を戴きました。このことは、このテーマに対する市民の皆さまの関心の高さを示すものだと考えます。

＜屋敷＞		
女性	15～24歳	誰でも気軽に利用できる場所にして欲しい。集中できる自習スペースをつくって欲しい。
女性	25～34歳	小さい子供がいるので、子供が楽しめる施設がより充実すると嬉しいです。千葉市から来ましたが、今でも十分満足しています。
女性	25～34歳	習志野市へ移住し、1年未満のため、経済や公共施設に関し無知でした。なので、しっかりとした返答できずすみません。今後は習志野市で出産や子育てを希望しているので、生涯を通し住みやすい環境になっていただければ嬉しいです。協力できる事はしていきたいです。
女性	25～34歳	お金がかかるなら、公共施設なんて不要だと思う。どうせ、年寄りの集合場所か、一部の子供しか使用しないんだし。それなら、保育所作ったり、土地売って、スーパーにした方が絶対良いと思う。フォーレ習志野テラスの周辺はスーパー難民だし、コンビニも遠いし超不便。なぜそんなに公共施設（ハコモノ）を作りたがるの？そんなに何コもいらないし、駅のちかくとか、学校のちかくに1コあれば十分！！
女性	35～44歳	習志野市に移住して2年半、公共施設やサービスについても、知らないことがまだ多いですが、同封のパンフレットで新たに知る事も多かったです。今後に期待しています。
女性	45～54歳	習志野市の公共施設は使う年代が限られており、使う人も限られているように思います（平日時間がある人のみ使用）。平日時間が取れない年代には関心はうすくなっています。土、日、夜間に使用ができるような施設になれば、市への税金を払っている意義も感じやすくなるのでないでしょうか。
女性	45～54歳	今後、なくなってしまう4つの施設には、近いから利用している方が多いと思います。新しく大きな施設が出来るのは良いですが、不便だと感じる方もいると思われます。ベビーカーや足の悪い年配者等への配慮を考えて欲しいと思います。コミュニティバスの巡回など
女性	55～64歳	弱者への気配りを忘れない市政を望みます。
女性	55～64歳	身近な施設であり、提供されればそれに従うが自分で特に何かをしたいとかの希望も考えは今のところは何にも無いです。年令的にも子供が小さい訳でもなく、その施設を利用しなければ行く場所が無いと言う訳ではないのでその様に思うのかもしれませんが。無責任の様ですが正直な気持ちです。
女性	65～74歳	○施設活用は市民と市役所との協同運営に。○ボランティアに年金制限をつけないようにする。実行能力の有無により採否を決めてほしいです。○設問はもう少し分かり易いかたちにしてほしい。○市役所に老人ホームを併設する。
女性	65～74歳	市の財政確保は、公共施設の縮小だけでなく市職員をみなおすことも考えるべきではないでしょうか？
女性	65～74歳	住んでいる人が快適であるためには、の近くにスーパーがないので電車で船橋から購入し通勤しています。駅周辺にスーパーがあると助かります。
女性	75歳～	私は大久保公民館に10年通いましたが新施設のオープンはH32年の予定の由、もはや通えないと思います。次世代の人達の良い施設と成ることを望みます。
男性	45～54歳	ぜひ魅力ある住民に活用できる施設をお願いします。
男性	65～74歳	土地の売却はせず、再取得はむずかしい。常駐の職員が不要な施設で、住民の協力を最大限に利用する。
不明	25～34歳	ハッピーバスの路線増加、1時間あたりの本数増加してほしい。特に朝のラッシュ時間（7:00～9:00）、夕方（17:00～19:00）は。
不明	35～44歳	利用頻度によって、重要度が異なると思います。家から通える場所、時間等により利用出来る機会も内容も変わると思います。地域に密着し、地元から愛される施設であれば人も増え利用することが増えればと思います。

＜花咲＞		
女性	15～24歳	統廃合についてはこの計画通り進めて良いと思うが、それ以前に市役所の移転問題をどうにかして欲しい。老朽化云々で駅前に移動したのはかまわないが、旧市役所はいつまでたっても壊されないし、新設されるそぶりもない。ビルを借りている税金がもったいないのだから建てかえるならさっさとやるべき。公共施設問題をとりあげて市役所の問題を後回しにするのはもってのほかだと思う。
女性	15～24歳	大久保にはいろいろな施設が集約されるのは、近くに住んでいる人達にとってはいいが、離れたところに住んでいる人達にとっては不便になると思う。特にこれから高齢者が増えていくので、遠いとなかなか利用できなくなってしまう。なので、各地域にやはりコミュニティ施設があった方が高齢者が家にこもらず地域の方々と楽しく過ごせるのではないかなと思う。これ以上、どんどん市民税などが上がっていくのは困るので、民間事業者に委託してでもコミュニティ施設は各地域にあった方がよいと思う。
女性	25～34歳	屋敷公民館は家からも近く、子供達は公民館のイベントによく参加させて頂いています。とても助かっていますし、子供達も楽しんでいます。屋敷公民館がなくなってしまうのは大変、残念ですが建物の老朽化も実際問題としてあると思います。
女性	35～44歳	集約化、複合化する事に反対はありませんが、施設が無くなって「不便だ」と感じる事がないように、交通手段も検討して頂ければと思います。徒歩では、遠すぎる距離だと思います。良い施設に生まれ変わる事を期待しています。
女性	55～64歳	どこも老朽化が激しく、暗く侘しいイメージがあります。利用時間にも制約があり、利用しづらい。又、不親切なことが多いようです。東京などはかなり遅い時間まで利用できますし、きれいで明るく、受付や窓口も親切でとても感じがよいです。半年に1回はアンケート、意見を聞き常に改善しているようです。
女性	55～64歳	習志野市は公共事業以前に道路が悪すぎます。道も狭いし、歩行者、自転車、車、通れるわけない道がたくさんあります。こんな事を考えてお金を使う前に、市民の安全を考えてほしい。どうでもいい公共施設はいらない、つぶせばいい。
男性	15～24歳	住民からの税金を適切に使用できているのか、しっかり見直しをしてほしい。私が小学校の時（およそ12年前）から大久保の施設や屋敷の施設の老朽を感じていました。やはり子供には環境の整った所で教育を受けるべきです（小学校の老朽化に関しても同じことが言えます・・・）。「やっと市が動くか」というイメージ、実際小学校の同級生で他市に転居している方も多くいます（市の問題だけではないのももちろん思いますが、あらゆる面で習志野市に魅力がないのでしょう）。年代関わらず意見交換する場を積極的に設けるべきです。
男性	35～44歳	子育て世代としては、今以上の市民の経済的負担はさけて頂きたいです。そのため、民間施設や民間業者の利用に賛同致します。
男性	35～44歳	私は花咲に住んでおり、千葉市に近い場所にあります。もっと幕張本郷付近も設備を整えて頂きたい。何のために高い税金を払っているのか分からない。
男性	45～54歳	期待しています。財政が長期間続くようにして頂きたい。
男性	65～74歳	（八千代市で運営されている）子供、高齢者がいつでも出入りできる施設で参加費（月500円程度）を支払って希望するサークル（体操、ダンス、囲碁、マージャン、ゴルフ、図工、お花etc）に参加できる地域密着で地域市民が運営する施設、学童は地域住民が当番制で責任を持って子供を見守れる施設にしたい。（おじいちゃんおばあちゃんが子供の面倒を見るようなもの）
男性	75歳～	花咲に住んで40年、この4施設あまり利用する事がなかったので、アンケートに答えられませんでした。

＜本大久保＞		
女性	15～24歳	○質問24の選択肢が2ページに渡っており、ページの行き来が発生し、非常に回答しづらい。おそらく集計のしやすい欄であろうが、回答する際に不便です。ページレイアウトを見開きに収めて欲しい。また質問それぞれ（24-1, 2, 3）で回答欄を設けて欲しい。○大久保図書館が古いため藤崎図書館を使っている。大久保図書館を再生してから藤崎に集約化に着手すべきでは？
女性	15～24歳	問24-1～3は分からないです。すみません。
女性	25～34歳	小さな子どもがいて、よく公共施設を利用させていただいております。やはり、施設の老朽化は周囲の親子さんでも気になる方が多いようです。「もし」「万が一」「何かあった時」に核となる公共施設が崩れていたら……。特に熊本地震の時に崩れた市役所を見て、「あづまが……」「大久保公民館が……」と古い所を思い出してしまいました。また、そこに人がいる時に「もし」が起こってしまった時、まきこまれないようにするために少し不便になってしまったとしても、「街」として安全に過ごしていける場所であって欲しいなと思います。
女性	25～34歳	公共施設再生計画をよく分かってないので、このアンケートは難しかった。広報は読んでもよく分からない。質問24は分かりづらい。回答方法がよく分からず、答えてから間違いに気付いた。ページは同じほうがよいと思う。
女性	25～34歳	施設を1つにまとめた場合、家から遠くなったりして年配の方など利用しなくなるのでは？また、子連れも同じく。行きにくくなったりするのでは？無料のバスなどあればいいと思いますけど。あと、アンケートを取ったとしても計画が止まることはないでしょう？意味あるのでしょうか？反対の人が多数いたからといって中止になるわけでもないのにアンケート取る必要があるのでしょうか？
女性	25～34歳	質問24が分かりにくい。次のページを開かなければ選択肢群が何をあらわしているのか意味不明である。また、設問②の選択肢が少なすぎる。1⇔2、3⇔4で対になっているので、優先3位まで選ばうとすると矛盾してしまう。5のその他自由記述は興味関心の強い人でないと選ばないと思う。よって、設問②がアンケートとして意味を成しているか疑問である。私は公共施設再生に賛成である。老朽化が進む施設では、耐震面で不安があったし、図書館の蔵書は小説が多く調べ物をする際に不満があった。この再生事業で改善されることを切に望んでいる。また、公共サービスはハコモノを作る行政側の自己満足と一部の人々（主に定年後の層）の娯楽にすぎないといった批判を向けられがちである。そういった言説に対抗するためにも住民主体のソフト面の充実が求められると思う。文化活動が単なる趣味のための無駄遣いではないということを示すための論拠となるような活動とそれにもとづく理論的武装が成されると良いなと感じている。
女性	35～44歳	習志野市民の為にありがとうございます。習志野市の将来の為にすることでしたら是非思い切った判断をお願い致します。よろしくお願い致します。
女性	35～44歳	公共施設の集約・再生ありきで話が進んでいることに違和感しかない。後の世代に負担を残さない為に、そこから考え直す必要もあるのではと思う。個人的には市役所の新庁舎がいちばん必要性を感じない。
女性	35～44歳	大学生が沢山生活している地域なので、大学生達が市内の子供やお年寄りと接する場（塾や高齢者施設など）を設けて、学生に収入や就職に役立つ何かを与えられるような（互いにメリットがあるような）施設があればあるゆる世代が交流できるのではないのでしょうか。

女性	35～44歳	習志野市は他市に比べ、子供の居場所作りへの対応ができていないと思います。小6まで学童受け入れ可となりましたが、現実には（小3の子がいます）今の段階で4年生は入るのも申請するのも（入られても多人数で困ると）あきらめてと支援員の先生から言われ、申請すらしづらい現状です。他市では学童の他に学校の空き教室を利用して居場所を確保したりサービスがあります（市川市や船橋市）。子供が1人でさびしく夏休みを過ごすのかと今から不安です。どうか良いサービスを期待しております。
女性	35～44歳	大久保駅と駅前、踏切をなんとかしてほしい。人が多く踏切周辺はいつも混雑していて危ない。線路を上を持ち上げてほしい。八千代台や船橋が出来るのだから大久保も出来ると思う。そうすれば、車と人が駅前を利用しやすくなると思う。
女性	35～44歳	もう少し答えやすい設問、フォームにして欲しいです。
女性	45～54歳	子供達がワイワイ走り周り、母親同士は知らんふりでガヤガヤ。その横にお年寄りが静かにいる。公共施設ができて規程と一緒に考えべき。
女性	45～54歳	障がいを持っている人が楽しめる場所、働く場所、地域の人達と、かかわれる機会等少ないと思います。充実した生活が送れるように、もっと場を提供して欲しいです。少数派の意見も、もっと受け入れて欲しいです。
女性	55～64歳	質問9にて答えましたが4つの公共施設を利用したことがない為、質問24-1、24-2、24-3、24-4では意見を言うことが出来ませんでした。
女性	55～64歳	無駄を省き、市民の為に税金を使ってほしいです。
女性	55～64歳	公民館、図書館の統廃合の件は、テレビで知りました。インタビューされている市民の方にも、今度の計画について聞いていないと言っていましたし、今のサークル活動すべて続けていく事は無理なようですから、キチンとした説明会を開いていて頂きたいと思います。
女性	65～74歳	質問24-1～24-4は今迄利用なし 24-2.3.4に関しては地域住民の環境性がわからないので答えられない。
女性	65～74歳	大久保図書館を利用しています。民間にしないで下さい。
女性	75歳～	今回の公共施設再生で、習志野市の価値が上がり発展するのを期待します。
男性	15～24歳	意欲のある人に、同様のアンケートをとってみると良いと思う。市役所は完全に建て替えるのに、他の施設はお金出せないんですね。
男性	15～24歳	公共施設再生は大切だと思います。しかし、費用が足りないなら、まず市長をはじめ、市議員の定数減、職員減など支出を見直し、削減（給与減）することが大切だと思う。税収が減少することが見込まれると自覚を持てば答えがでてくると思います。
男性	15～24歳	競馬場から財源をもっととれないものか。
男性	25～34歳	長い目で社会、地域を見据えた時に、このような取組は大変有意義な物であり、これからこのような取組がどんどん広がるべきだと思います。ただ、最近では東京でオリンピックや豊洲などの問題で公共事業に掛かる経費にも関心が集まっているので、今回の4施設でどの位の金額が浮いたのかも示してもらえたら良かったと思いました。
男性	25～34歳	学生の若い人に向けた積極的な取り組みを期待したいです。未来ある若者に向けた街づくりをする事で魅力的な街になると思います。現状の公共施設はずっと利用し続けている年配の方達などが独占しているようにも感じます。カフェや自習室、若者が集まれるような場所があるといいと思います。

男性	35～44歳	子育てしやすい習志野市ということで住み始めましたが、学童保育の現状について改善を希望します。支援員の賃金が船橋市より低い。支援員が採用されない為、小学4年生以上の子供達の保育が受け入れられてない。これで子育てしやすい市と言えるのでしょうか。子育て世代が安心して住める町にすることで住民も増え、財政も確保でき、活気のある市になる気がします。また、施設の統合によって、高齢者は遠い距離を通うことも考えられます。サークル活動等の転換を求められます。高齢者にとっても住み良い市であることを期待します。
男性	45～54歳	最近のIT機器の進歩は早く、建物だけでなく、設備の充実が重要だと思います。また、最新ソフトを更新していく等、継続した予算処理を考えて頂きたいと思います。
男性	45～54歳	質問24は施設を利用したことがないので、回答できませんでした。「市民プラザ大久保」は利用（立ち寄り）ありますが…自身は現在も音楽活動しているため「印西フレンドープラザ」まで年数回、音楽活動として参加させて頂いていますが、地元でのコミュニティーがあれば幸いです。
男性	45～54歳	小学校、中学校との共存できる施設を考えて欲しかった。
男性	65～74歳	今後、高齢化対策、少子化対策などに費用増が見込まれるので、市財政の節減対策が不可欠と思います。今回の公共施設再生はその一つとして評価しています。余談ですが、これ以外のあらゆる分野で市の財政のスリム化が必要と思っています。
不明	15～24歳	集約される4施設の跡地をデベロッパーやゼネコンに売却し、市の手の及ばないような状況になることは避けてほしい。習志野市の大切な財産であると考えます。
不明	45～54歳	図書館を立派にしてください！小さい。少ない。
不明	55～64歳	〇項目が多すぎる。〇市民（誰でも）に分かりやすい言葉での質問をして欲しかった。特に質問24-1～4が難しい。
不明	65～74歳	高齢になり、元気で、質の高い生活をする為にも地域で、自由に移動できることが大切だと思います。ハッピーバスの導入は、足として、ありがたい手段ですがどこまでいっても百円で利用できる様にしてもらえると公共施設が統合されても、気持ちよく金銭的負担なく気軽に利用できるのにな～～と常々思っています。
不明	65～74歳	・本公共施設再生計画については、理解し賛同致しています。・施設の在り方について それぞれの施設所在地を取り巻く環境（住民構成等）から画一的な目的物でなく、利用者呼び込む事業的な検討が必要と思われる。※特に4施設の在る地域は40年道路区画は変らず発展性が感じられない。街づくりと施設は連帯する都市近郊地域で夜間人口型で地域に密着しない層が増加しており、先を見すいた発想が必要でないか。（中長期的）

＜鷺沼台＞		
女性	15～24歳	何をするのにもお金がかかる。集約された施設があっても生まれかわる施設があるから、これからまた習志野市が住みやすい市になれば良いと思う。皆に愛されるような地域になれば、施設もたくさん使われると思う。
女性	15～24歳	全体的に建物が古いので変えてもらいたい。後、中学校などのトイレ、体育館なども綺麗してもらいたい。実際、習志野6中のトイレが凄く古いので、予算があれば変えていただきたい。公共的な所でいえば公衆トイレなど。汚くて入りづらい。ショッピングモールのトイレみたく綺麗ではなくても大丈夫なのでもう少し綺麗にしてもらいたいです。
女性	45～54歳	習志野市公共施設再生計画について、このアンケートに回答するまで、ほぼ知りませんでした。今、小学5年生の息子は屋敷公民館で0才～2才迄、沢山の行事に参加させていただき、すくすくと成長しました。この再生により集約されるということですが、これから育っていく子供達にも利用していただき私の様に他県から嫁いだ者でも安心して利用できる施設の取組をしていただければと思います。
女性	45～54歳	地域で子どもから高齢者まで安心して暮らせるような習志野市になってもらいたいと思います。高齢者が活躍できるといいと思います。子どもの貧困の対する問題、障害者の仕事の場などつながっていくとよいと思います。集約していくことは合理的なことと思いますが、近くの公共施設がなくなるデメリットもあると思います。
女性	55～64歳	図書館はよく利用しているので、老化していても、建物を建てかえても図書館は残して欲しいです。
女性	55～64歳	市民図書館は市民のいこいの場もかねて、素晴らしいものを望みます。
女性	65～74歳	民間に売却する。大久保地区に館が多すぎる。一カ所集中管理、経費削減する事。習志野市は財政豊でない。
女性	75歳～	ボランティアポイント 何かと人にお金がかかります。事業すすめるに設営するにも人にかかる金をボランティアを集める。ボランティアをした時間に対し金額、税金からてんびきするというのは？
男性	25～34歳	1、習志野市には市や県が持つ空き地（借の小川）が、いろんなところにあります。遊歩道等の有効利用を考えてください。2、市、県、国が保有する空家（古いビルを含む）があります。その近くに草地もあります。公園や公共施設利用を考えて下さい。3、市全体として、壮大な遊歩道計画（習志野市の歴史をたずねる）を考えて下さい。若いボランティアや商店との共同で行なうのが理想です。習志野市には東邦、日大、千葉工大があるので協力いただくのが最善の方法だと思います。
男性	35～44歳	大久保もいいですが、鷺沼台に子供達が集まりたくなる公園がありません。習志野市は小さな公園で、遊べる場所が少なく、放課後は、お習い事に行くんだと思います。お習い事ができる施設をつくれば、公園と習い場がセットになり良い場になると思います。
男性	45～54歳	施設の老朽化や財源の問題などは、理解しているつもりですが、公共施設がその地域の住民の交流や重要な拠点になっている事も考えていただき、今ある場所にそれぞれ何かしらのスペースは従来通りに残して欲しいです。全てなくして1カ所に集約するのはいかなるものかと思う。
男性	65～74歳	1、公共施設は目的があって存在するものだが、その実態を把握する責任体制が重要。（魅力が失せたもの衰退する宿命）2、要は現場主義に接することである。◎問題点を早く捉え、そこにメスが入られる人の配置 ◎持続的に目的を全うしようとする人の育成（または入れ替え）。3、財源の維持が細い事業は必ず廃る（先細る）。※市、市民ともに情熱ある人材と機構にあると思う。
男性	75歳～	貸会議室、レンタルキッチン等地域住民の要求に答えられるのか？室数の確保と今迄の室数以上のサービスが出来るのか？従来以上のサービスを期待したい。
男性	75歳～	この10年習志野市の市政及び市職員の活動が見えてこない。なるがままに流れているようだ。これもありがた。

＜藤崎＞		
女性	15～24歳	藤崎に住んでいるので対象施設をあまり利用したことがありません。
女性	15～24歳	私は運動をやっているんで、出来れば、運動の出来る施設を建てたらいいと思います。確かに習志野市に運動できる施設が数カ所ありますが、私の家からとても遠くて、年に何回か行きますが、行くのに時間がかかって大変です。なので歩いてでも行けるぐらいの距離にあって欲しいです。
女性	15～24歳	私は藤崎に住んでいますが、よく新習志野公民館や市民プラザを利用します。習志野は「音楽のまち」であり、私自身も習志野市で小中と吹奏楽をやってきました。ですが、楽器と練習できる施設が限られているなと大人になり楽器を続けていくにあたり思うようになりました。スタジオ等1人や少人数で練習できる施設がもっとあるとすごく嬉しいです。また、藤崎図書館はよく本を借りに行ったり受験勉強でも利用させていただいた思い出のあるところなんです。すてきに生まれ変わることを期待しています。
女性	15～24歳	公共施設を再生することは良いことだと思います。ただ施設の立地が偏っていることに疑問を感じています。たしかに京成大久保駅周辺には小中高と学校が集まっています。しかし、そこに属さなくなると利用することが困難になると思うのです。人口分布も考えた上で、JR駅の近くにも公共施設（特に図書館）があると利用者層に良い変化があるのではないのでしょうか？
女性	15～24歳	学校帰りに大久保図書館で勉強できたら駅から近いし、有難いのですが自習用の仕切りがある机がないことと、閉館時間が早いことで少し遠いのですが、遅くまで開いている市民プラザまで行っています。自習机がある施設が駅の近くにあったら積極的に利用するのにな、と思います。
女性	15～24歳	私は、4つの施設の中で、藤崎図書館しか利用したことがなく、残りの3つについては、場所も活動内容も知りません。唯一利用した事のある藤崎図書館も13年暮らして両手で数えられる程度しか利用したことしかありません。実を言うと、「図書館がなくなる」ということが、すっかり頭から抜けていました。それほど、興味がありません。公共施設が、どのように再生されるのかは知りませんが、利用者が増えないなら、再生する意味がない気がしました。
女性	15～24歳	集約施設ができるなら、地域住民が安く利用できるフィットネスジムのようなものがあつたらいいのになと思います。
女性	25～34歳	公共施設の利用者人数、利用者の年齢を把握すべきだと思います。そこまで利用者がいないのであれば、税金は他の事業にまわして欲しい。特に待機児童問題は隣の船橋市が深刻であるように保育園等。保育園を作るのに土地の確保等資金が多かるため（時間も）ベビーシッターの利用補助も検討してほしい。労働力の増加→税収入の増加 公共施設の運営費等、報告してほしい。
女性	25～34歳	習志野市についてこれまで深く考えたことがなかったので、回答できない事が多くありました。が、習志野市民として何を今後していけば良いのかというのを頭に置いて過ごして今後の為に自覚をしていきたいと思います。あまり回答にお役に立てず申し訳ありません。
女性	25～34歳	公共施設再生の取り組みは、共感できる点が多く、無駄を省き、より充実した公共サービスが提供されることを期待します。施設が集約されることになり、今まで利用していた利用者にとって不便になることがないように対応して欲しいです。高齢者や乳幼児のいる家庭の交通手段の確保を期待します。
女性	25～34歳	藤崎図書館は家族で利用しているので、無くなってしまうのは大変残念です。北館というのは家から遠くなるのでもう市の図書館を利用する事はなくなると思います。藤崎図書館のどこか一部のスペースでいいので、ネットで予約した本の受け取りと返却だけ行う場所を確保していただけると嬉しいです。

女性	25～34歳	・仙台市にある「メディアテーク」という図書館のような施設があるととてもうれしい。本の量と自由スペースがとてもあり、かつオシャレな施設でとても良かった。 ・藤崎図書館がなくなるとそこを利用していた人達はどこを利用すればよいのか？大久保にもあるが交通手段がない人達のために何かするのか疑問です。
女性	25～34歳	公共施設の多機能、集約それ自体はいいことだと思う。職員間の情報共有も可能になる（それを求む！）しかし、住民にとって、徒歩圏に公共サービス、特に教育を担う図書館は非常に重要だと思う。教育にけるお金はけちるべきではない。情報に触れる機会は常に開けるべきである。子供や老人にとって、市内の図書館の配置は適切か？彼らはそこにたどりつけるのか？私はそうは思わない。
女性	35～44歳	大久保地区までは遠いです。バス等の交通機関も整っていない。高齢者はどのように利用していくのか。例えば素晴らしい施設をつくっても、その場所に行くまでの足がなければ意味がない。市役所における音楽ホール予定も同様！全く市民のための身近なサービスになっていない気がする。
女性	35～44歳	「今まで以上に多くの世代の方でにぎわう場所となる」のはいいことだと思うが、京成大久保駅付近の渋滞はどうなるのか。
女性	35～44歳	あまり市の公共施設を利用していなかったのでこのアンケートをきっかけに、もう少し利用してみようかなと思った。
女性	35～44歳	住民が多く利用するショッピングモールなどに図書貸出しスペースがあるといいと思います。
女性	35～44歳	藤崎図書館を時々だが利用しているのではなくなると困る。このアンケート対象の他の施設は利用したことがなく市内とは言っても土地勘がないので何に利用するのが、適当かと質問されてもわからない。習志野市は借金が多いと聞くのでお金が適切に本当に必要なところに使われているか疑問に思っているが、サービスの量と聞かれてもよくわからない。（税金が正しく使われていない気がするので「十分でない」に○してます。都市計画もずさんだと思う。）
女性	35～44歳	図書館へ2週に一回は子供を連れて行きます。藤崎図書館は自宅から少し遠く、東金街道の歩道は危険で、駐車場もないため利用しずらく、新習志野や谷津図書館まで行っています。大久保地区に集約されるのであれば、ますます遠くなり利用しずらくなります。ぜひ、立体駐車場など広すぎるくらいの駐車場を作ってください！駐車場が十分あれば行ってみようと思う市民がたくさんいると思います。
女性	35～44歳	藤崎地区の図書館は、子供が何回も利用しています。（保育所の頃～今までも）できればなくす方向でなく、移転など考えてほしいです。
女性	35～44歳	従来から、本体については幾度かの連絡があったように思っていますが、あまり関心を持って考えてみなかった事もあり、的確な回答になったか否か不安です。申し訳ない。
女性	35～44歳	答えにくいアンケートでした。公共施設再生計画のことは、なんとなく知っていました。大久保地区（大久保駅付近）の方は便利でいいでしょうが、私の住む藤崎などは、何も良いことがありません。積極的に説明会へ参加することはしなかったからまあ、何も言えませんが。
女性	35～44歳	船橋市のように、小学生が1人で行けるような児童ホームなどがあれば、子供にとっても親にとってもありがたいです。
女性	45～54歳	・お金をかけずに多くの住民が利用しやすい施設にして欲しい。 ・どの施設も利用したがないので、質問24の各施設ごとの問いには答えづらい。
女性	45～54歳	公民館や図書館は子どもや年配の方が使用することが多い。遠方になると、近所の限定された人しか使えず、サービスに不公平がでるし、何より行けなくなって困る人がたくさん増える。悲しんでいる人がたくさんいる。

女性	45～54歳	施設再生のことだけでなく、閉鎖される施設を使用してきた人のそのあとも考えていただきたいです。新しい施設への期待よりも、今まで受けてきたサービスが今後どうなるのかという方が気になります。せめて藤崎図書館閉鎖後も予約した本のみ受け取れるサービスまたはコンビニ等で受け取れるというようなことも考えていただきたいです。
女性	45～54歳	仕事をしたくても働く先が見つからない等、収入面で不安をかかえてしまう若者や高齢をむかえる人々、住む場所が確保できれば、先々のお金の心配をしなくても。持ち家があっても維持していけないなら、どうしようか？介護サービス等に該当しない人たちの今後の生活の支えとなるようなことを考えても。将来的に安定した生活が望めるのなら、がむしゃらにお金を貯蓄する必要もなく、何かを建設する投資へまわせるように思います。
女性	45～54歳	とにかく、この地域では本当に買い物に不便。この状況では皆さん他市の大型店へ流れていきます。学生街なのに本屋や文具屋などもほとんど無くなり、学生さんも学校～駅を素通りしている印象です。もちろん生活必需品も魅力ある品揃えには程遠く、とにかく市民がついふらっと足を運んでみたくなるような街づくりになったらいいのと思います。それと前のページ（注3）の文章など、私には理解できません。結局、国から習志野市が買いとるって意味？それとも国に売る？あちこち一般人にはとてもわかりにくいアンケートでした。いずれの施設の前にも市が立つとか、カフェや物販の車が日替わりなどで来るとかしたらいいなあ！
女性	45～54歳	・質問文がわかりづらい。 ・質問に対しての選択が多くて大変だった（質問24）
女性	45～54歳	東京都豊島区の新庁舎をタワーマンションにしたような新しい発想を持った取組をしてほしい（財源を使うだけでなく、それをもとに財源を生み出せるような）
女性	55～64歳	習志野市の学校にエアコンを付けて下さい。自分たちだけですずしい所にいないでください。
女性	55～64歳	安全性など安心のできる公共施設再生づくりにがんばってもらいたいです。
女性	55～64歳	声が届く調査は、とても良いと思う。がんばって下さい。ありがとう。
女性	55～64歳	今は特に思い浮かびませんが、具体的なお知らせ等発表されたら、できる事に対しては参加していきたいと思います。ボランティア等、わかりやすくお知らせくださると助かります。
女性	65～74歳	サークル活動がたくさん出来る様（老人が家の中に居ない様、興味があるものが気がるに出来る様に）
女性	65～74歳	総花的な行政では財政悪化とより全体的の質が低下します。重点を絞って、教育、安全、安心面に手厚い施設を期待します。公共施設再生より効率的で経済的な施策は積極的に進めるべきと思います。
女性	65～74歳	常に公報で発進し市民一人一人がその中で自分が出来る事には参加、協力していけたらいいと思う。船橋市の三山小学校と同敷地内にデイサービス施設があるが、あれはお年寄り、子供達双方にとってもとてもいい良い事だと思う。習志野市も少子化で空教室が増えている様でしたらある様な方式を考えてみるのもいい事だと思いますが・・・。
女性	65～74歳	藤崎3丁目在住ですが、年を取って歩いていける公共の施設がないので歩いていける公共の施設があれば心強いのですが。
女性	65～74歳	ご近所に恵まれ何となく暮らして来たので考えることがありませんでした。公共施設も利用したこともありませんが藤崎図書館がなくなってしまうのはちょっとさびしいですね。
男性	15～24歳	藤崎図書館に小学生の時にいったことがあるが、その他の施設についてはどこにあるのかもわからず、記入できなかった。
男性	15～24歳	人目が気にならないような場所で学習できる場所が増えてほしい。

男性	15～24歳	聞くのが遅すぎると思う。施設が無くなるのが決定してから言われてもと思った。
男性	25～34歳	スポーツの町船橋に負けない。習志野をスポーツの町へ。
男性	25～34歳	無駄な時間を取らせないで欲しい。
男性	35～44歳	公共施設の再生では無く、若者・育児世代への支援を手厚くして若者世帯の流入を通じた活性化をすべきと思う。
男性	35～44歳	アンケートの結果を展開してもらいたい。
男性	35～44歳	放課後、子供達が友達と一緒に遊ぶ場所が必要だと思う。船橋市の三山児童ホームのような施設を希望します。ドッジボール、サッカーなどの外スペース。体育館ではバスケ、トランポリン、卓球のスペース。小さな子供でもできるぬり絵や音楽室もありました（私の子供の頃です）。常駐している職員さんの子供への対応も素晴らしい。ぜひ、視聴して習志野市にも子供たちの施設を！
男性	35～44歳	この調査を企画された学生の皆様が、卒業後に習志野市政を牽引されることを熱望します。
男性	45～54歳	行政の偽善である。年金受領者の暇つぶしである。子供が遊べる公園を整備した方がよい。子供のボール遊びを制限し、選挙権をもつ年よりがゲートボールすることはOKなのは行政の怠慢である。
男性	45～54歳	藤崎図書館は、絶対につぶさないでもらいたい。学生の勉強する場所をつぶさないで欲しい。図書館は大人にも、子供にも、学生さんにも絶対必要な場所です。
男性	45～54歳	豪華な市役所を作るより図書館のような地域の人が集まれる場所を残してほしい。習志野市文教住宅都市憲章はどこに行った？
男性	55～64歳	藤崎図書館は残してほしい。
男性	55～64歳	大きくて内容の濃い書物を集めた図書館を作してほしい。
男性	65～74歳	市の財政に関する質問をもっと深く掘り下げる必要がある。財政の不足が、市民の生活を豊かにしてゆけない根源。市役所職員の数の多すぎ（むだな経費の根本）。スリムな体制を構築することを最優先する必要有り。ムダをまず減らすこと。
男性	65～74歳	習志野市の財源確保と財政負担の軽減の資料がないので大久保地区公共施設再生に戸惑っています。習志野市は浦安市と並んで小さな市ですが、市議の数が多い。市民の豊かな文化活動を制約するのであれば身を削る政策も合わせて提案してもらいたいです。市政全体を通してこの再生が必要なのかかわからないと回答もあいまいなものとなり、集約の方向性も「再生ありき」を当然のものとするのでしょうか。身近で便利な施設が今までのように利用できなくなることに憤りを覚えます。日々働くことが不自由になっていく我が身です。
男性	65～74歳	申し訳ありませんが、この調査では結局資金を出させるもの以外には口を出さないとの趣旨のように思われてなりません。
男性	75歳～	習志野市の財政についてホームページで見ましたが、専門家でないとなかなか理解できないのが残念です。
不明	75歳～	藤崎図書館の近くに住んでおりますが（50年近く）住民の町会や何かしたい時に集合する場所が藤崎青年館まで歩かなければ集会所がないので町会の会合やその他の集まりごととも遠すぎて欠席することが多いです。特にこの所、年寄りが多くなりました。例えば大久保プラザみたいな場所が出来ればと思っております。

＜大久保＞		
女性	15～24歳	今の公共施設のある場所の紹介（高齢者多い、子育て世代多い）などがわかると周辺のまちづくりの方向性などが選びやすいと思った。公共施設の今後のあり方はとても重要な課題だと思うので、習志野市の方々には頑張ってもらいたいです。
女性	15～24歳	大久保にたくさんいる学生がもっと勉強できる場所をつくってほしい。大久保商店街をもっと活発化させれば良いと思う。図書館の充実さが欠けている。
女性	15～24歳	藤崎図書館が無くなるのは残念です。本を読むのにすごく最適な場所だったので、潰す必要が全く分かりません。若者優先の社会にしていきたいです。
女性	25～34歳	地域での生活で困っている人に対するサービスの場を求めます。又、民営であっても市が責任を持って管理し、利用者が公的なサービスとして安心感を持てる施設が望ましいと思います。少子高齢化の社会で、習志野が選ばれる市であってほしいと思います。
女性	35～44歳	大久保公民館の近隣に住んでいる為、他の集約対象施設を利用したことがない。跡地利用は防災関連で利用するのがのぞましいのでは。
女性	35～44歳	・習志野で育ち愛着を持っています。市内施設で働いており、今後も地域での取り組みに積極的に参加出来たらと思います。
女性	35～44歳	今回の調査について回答しましたが、そもそも集約される施設については利用した事がない立場にあります。アンケートや地区の人口の変化を踏まえたうえでの計画だと思いますが、今までの利用者や地域の著しい不利益とならないような対策についても検討していただきたいと思います。また今回同封のリーフレットにより、公共施設の再生計画について知りましたが、災害発生時の一時的な避難所であったり、そういった拠点としての機能は持たないという事になるのでしょうか。
女性	35～44歳	大久保地区に住む意見を伺える人、全ての方を調査対象にした方がいいのではと考えます。
女性	35～44歳	単に集約などといっただけでいいで、これまでの果たしてきた施設の役割をきちんと継続してほしい。高齢者に偏ったサービスでなく、すべての世代にそれぞれのニーズに合ったサービスを考えて！！
女性	35～44歳	自分や自分の子供が今後何十年と住むことになるだろう習志野市が、住みやすく子供たちが健やかに成長していけるようなまちとなることを願っており、その一環として今回の公共施設再生が実施されるのだらうと思っています。そういう意味では、自分自身も何か協力できることがあれば協力したいという思いはあります。ただ、現在は0才児の育児に必死（夫の帰宅は深夜、実家は遠方）であるため、じっくりと一つのことを考えたり判断したり調べたりということが不可能です。したがって、今すぐに何か具体的な考えをもったり、行動を起こしたりということができません。残念ではありますが...
女性	45～54歳	私は習志野市に住んで10年目となりましたが、4施設は一度も利用した事はないですし、何をやっているのかわかりません。ご近所の高齢の方がよくこれから「ゆうゆう館に行くの」と楽しくでかけていらっしゃいますので、これからも残してほしいです。4施設について何をやっているのかわからないので、知りたいです。
女性	45～54歳	〇人口減少が確実視されている中で、市が消滅せずに継続してことを考えたら、多くの住民参画（外国人登録者も含め）が必要と考える。それによって、住みやすいまちをつくることにつながる。住みたい町にしていくことが長期的視野が必要。〇公民館のような公共施設は就労者にとっては使いにくい場所である。就労者も利用できる配慮があると嬉しいが。（利用時間、オンライン予約など）〇民間委託をすすめることは、公共性の維持が難しいと考えるので何らかの行政関与が必要と考える。（補助金をだすだけではなく）

女性	45～54歳	屋敷公民館跡、あづま子ども会館など制限のある建物の場合、これらの取り組みを反映されるのか、疑問が残る。中央公園周辺に、集約されるのは残念。もう少し分散してほしい。参加はできないが、よりよい施設等になるよう期待応援しています。
女性	45～54歳	市財源に頼ることなく、民間に市民サービスを任せたら良いのではないかと。1つの業者に長期間ということではなく、市民に継続の有無をアンケートし業者選択してほしい。民間業者との慣れ合い、 <u>慣行事業</u> にならないでほしい。これが他市からのイメージダウンに習志野はなっているようだ。
女性	45～54歳	すいません、仕事でへとへとでこれ以上、考えられません。
女性	45～54歳	大久保公民館、大久保図書館、あづまこども会館の老朽化はとても気になっていました。1つ1つの施設を個別に手入れするのではなく、広い範囲で統合しながらの対策はとてもよいことだと思います。こちらを立てれば、あちらが立たず・・・といったようなこともあるかと思いますが、様々な形でいろんな方々の意見を少しでも取り入れながら、話を進めていただけたら、地域住民としてはありがたいです。
女性	55～64歳	大久保駅自体周辺を変えてほしい。利用者数の割合に対して駅がひどすぎる。上記のような施設は敷地がせまくあまり活用できないと思う。
女性	55～64歳	公共施設再生への話し合いの場に参加して皆様の意見もお聞きしたいと思いました。習志野の市民おひとりおひとりが心身ともに健康な町づくりへと参加できる公共施設再生を願っています。
女性	65～74歳	市の再生へのプロジェクトには多いに期待、興味があります。街が少しでも潤って小さな子供からお年寄りが安心して住める様に願っております。私達、年配者には何も出来ませんが陰ながら応援させていただきます。
女性	65～74歳	習志野市に越してきましたのでまだよくわかりません。
女性	75歳～	あづまこども会館にある防災行政用無線は是非大久保地区に置いて欲しいです。例えば、市民プラザ大久保とか八幡公園等。
男性	15～24歳	市民優先利用にして欲しい。筋トレが夜遅くまでできる2H300円くらいの千葉市みたいな施設があると良いと思う。
男性	35～44歳	・あづま子ども会館の屋上に設置されている「防災行政用無線」を当該施設廃止時には、近所の市民プラザ大久保に移設してほしい。・ふくろうFM（八千代緑ヶ丘のコミュニティFM局85.5Hz）でも、習志野市の緊急情報を発信してほしい。・習志野市役所新庁舎完成時に、第4分室（情報ビル）の習志野市役所使用スペースが空いた際には、J:comお客様窓口（J:comショップ）を再設置してほしい。・京成大久保駅の橋上化および北口駅前広場を実現してほしい。・大久保地区での期日前投票所および市役所連絡所設置。
男性	35～44歳	公共施設は最低限とするべき。一般企業では「所有」→「利用」へと発想が転換されている。売却は貸与して得る利益で財政改善に取り組んで欲しい。（企業誘致等による歳入増加、IT化による人件費の削減）民間から見るとウンザリする程、ムダが多く、遅れている市の運営をスマートにする取り組みって他市に先がけて注力して欲しい。新しく建物をつくる必要はない。市の職員も多勢いらない。充実した公共施設は少なくとも、専門的な知見が乏しい市に期待しない。ガッカリすることが目に見えている。
男性	35～44歳	①集約化により、京成線より南側に公共施設（サービス）が集中し、北側とバランスが取れていない。②北側は「市民プラザ」だけでなく「図書館（18才以上）」や「レンタルキッチン（バーベQ）」など、もう1つ南側にない若い人を呼び込める町作りが必要と思われる。
男性	35～44歳	資金的な問題での公共施設統合はやむを得ないと思いますが本来ならば同じ場所での施設の再生を望みたかったです。統合される分、今まで以上の質を望みます。

男性	45～54歳	どの施設も利用したことがなかったので、有効的な利用についてはわかりませんでした。そもそも定義だけで存在する施設を一部の利用者がリピートしているだけのものでは意味ありません。公共施設再生による財源創出はしかるべき処置だと思う。どんな街づくりをするかのビジョンを基に有識者や民間を交えながら、次の施設をどう活用していくかを定め、市民の認知と参画、利用を促すような施策が欲しい。箱として存在するのではなく講演会やレクリエーションを発信していく場にするなどである。あとは図書館を一本化して充実して欲しいことと、学童保育の新しい在り方をつくって欲しいです。
男性	55～64歳	取りまとめが難しく思いますが、多数の賛成意見が有る方向へと決めて下さい。
男性	55～64歳	施設跡は売却することも検討した方が良い。
不明	35～44歳	大久保図書館と藤崎図書館を利用して思うこと。大久保図書館は大きいが使い勝手がよくない。学習スペース、読書スペースを増やしてほしい。藤崎図書館のように子供用と大人用をフロア分けすると、お互いに気持ちよく利用できるのではと思います。どうせ建て替えるのなら、利用面を考慮していただけたらと願います。納税している身としては、諸々の申請書類を取りに行くだけの市役所にお金をかけるのなら、市民が日常的に利用できる公共施設にお金をかけてほしい。

＜泉町＞		
女性	35～44歳	バスの公共はOKだと思います。道や道路がガタガタしているから直してほしい。大学生のアパートをもう少し、きれいな所を作って欲しい。東邦中高のマナーがなっていません。
女性	35～44歳	問24がわかりにくい。1年しか住んでないので、施設名を見ても何もわからない。習志野は通勤族が多い場所だと思うので、転入して来た人が入りやすい場所であってほしい。
女性	45～54歳	取り壊しすればいいものもあると思う
女性	45～54歳	京都市から引っ越してきました。京都市では、ゴミ袋が京都市が発行したものでないと収集してもらえません。市販のものより、少しだけ高かったです。（燃やすゴミ袋30L 10円等）他にも便利な場所で駐車場を運営していました。習志野市は財政難と聞いています。ゴミ袋だけでも習志野市が発行してはいかがでしょうか？
男性	15～24歳	・学生と高齢者が共働できる機会（スペース）の創出が出来れば良いかと考えました。・調査についてですが、出来れば検討対象施設の現状（利用実態）などについての簡単な資料をつけていただけると考えやすかったように思います。
男性	25～34歳	公共施設ではなく民公共施設とすれば、公で場所を提供、民からは他の場所より安く家賃等を集金、市の収入、町の活性化。民公共に利点が多いのでは？
男性	55～64歳	・市だけの取り組みでは人的、財政的には限界があると思う。・元気な年配者が活躍できる場や機会を積極的に知らせ、活用できるようにする。・できれば、ボランティアとはいえ、多少の金銭的支援があるのが良いと思う。
男性	65～74歳	・アンケート調査結果について、公開するのか？
男性	65～74歳	これからの時代、過度の老人福祉はもうけっこう。若者、子供重点を基本方針としないと自治体の活性化は進まない。老人層は小うるさく選挙にも多く参加するため施政者はびじりがちになるがもう残された時間はあまりない。例えば図書館。暇な老人たちの時間つぶし場所ではない。開館時間も学校や会社の授業時間、勤務時間というのはおかしい構成だ。
不明	45～54歳	利用についてもっとわかり易く、告知してほしい。新参者には参加しにくい雰囲気がある。大久保地区は歴史的にも貴重な場所であると思うので、我が街について学べるような取り組み等していただければ、と思います。
不明	65～74歳	3. 4はアンケートは必要ないのではないかと思います。

＜不明＞		
不明	75歳～	本人は90才でいろいろなことがよく分からないようです。
男性	不明	積極的に情報公開をお願いする。市民の要望を取り入れたものとして、有効活用の出来るようにして下さい